

留学がもたらす長期的インパクトに関する 国際比較調査

ーグローバル人材育成において留学が果たす役割とはー

芦沢真五（東洋大学）

日本高等教育学会第18回大会

2015年6月28（日） 於：早稲田大学

本発表は、2013-15年度文部科学省科学研究費基盤研究A
「グローバル人材育成と留学の長期的なインパクトに関する研究」
(研究代表者 横田雅弘（明治大学）) チームの研究によるものです。

研究の概要

背景

- 全世界の留学生数の増加／日本人の海外留学者数の減少
- 高等教育の質保証、学びの実質化をめぐる議論の高まり
 - グローバル社会で活躍しうる人材に求められる スキルと能力の明確化・測定の進展
 - 学生の海外学習の促進と、多様かつ効果的な 国際教育プログラムの開発ニーズの高まり

研究の目的

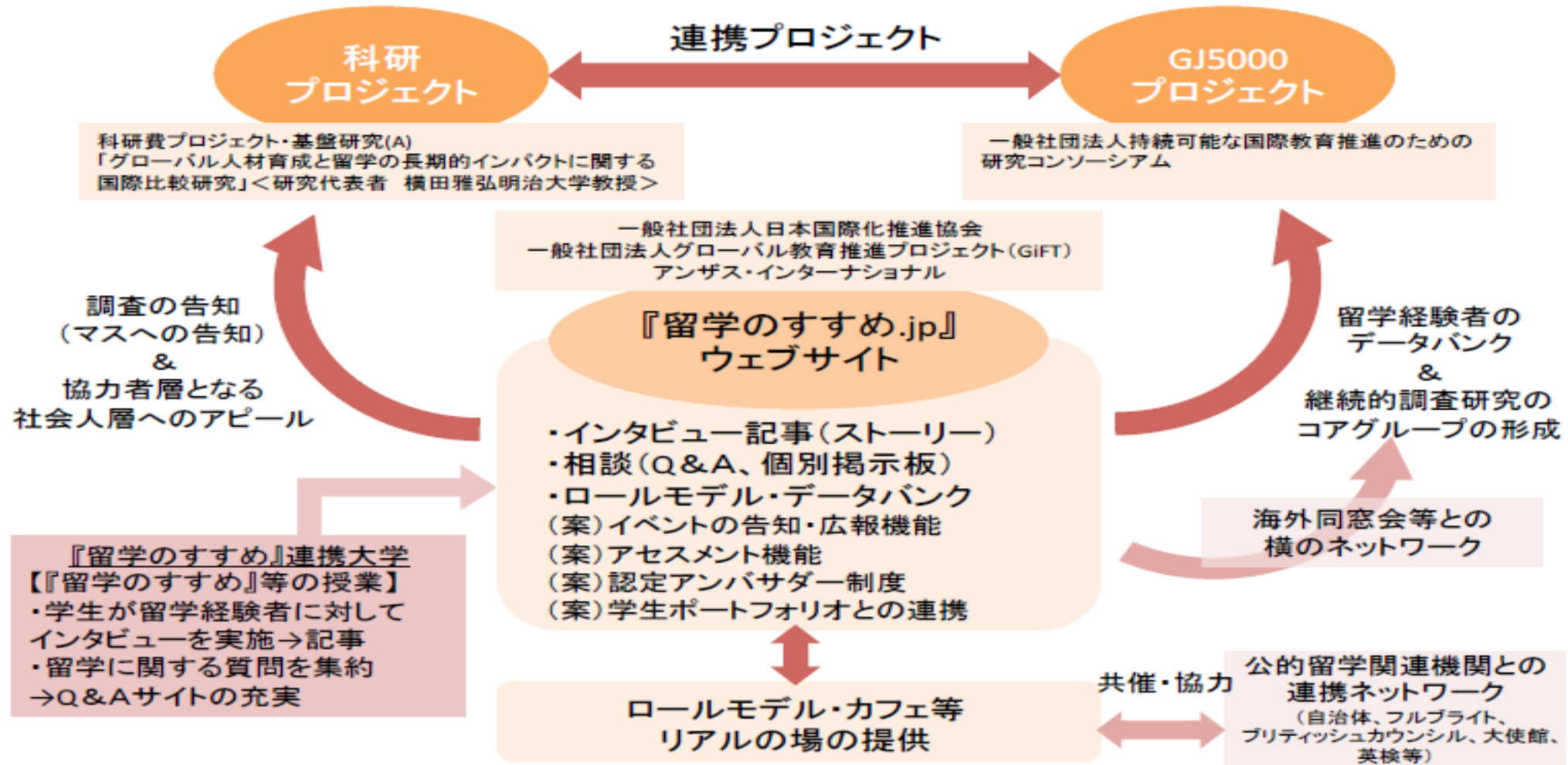
- 海外留学が留学経験者の留学後のキャリア形成や人生に与える中長期的なインパクトを明らかにする。
- グローバル人材の育成という喫緊の課題に取り組む大学（国際教育のプログラム改革等）と企業（人材育成とキャリア形成）に対する有益な示唆の提供も目的とする。

研究の概要

研究の方法

- 大規模な回顧的追跡調査（オンラインによる質問紙調査）
 - ✓ 2014年12月～2015年5月上旬まで回答受付
 - ✓ 総回収数：5227件 • 有効回答数：4,489件（確定値）
- 調査対象者
 - ✓ 現在社会人、もしくは過去に社会人を経験したことがある人
 - ✓ 小・中学校は主に日本で過ごし、高校卒業後に3か月以上の海外留学を経験した人（ただし、卒業後も留学を経験していれば、高校在学中に海外留学を経験していてもよい）
 - ✓ 留学先の対象は、高等学校、大学、大学院、職業・専門学校、語学学校（インターナショナルスクール・国際バカロレア、民間のダンススクールやプロスポーツの育成チーム（専修学校等に属さないもの）、民間のビジネス研修機関は含まない）
 - ✓ 海外留学の目的が語学習得や学位取得などであり、単なるボランティアやワーキングホリデーは含まない

科研プロジェクトに参加する「留学経験者」のコミュニティ形成と 将来的なりサーチ対象層である学生をつなぐコミュニティとしての『留学のすすめ.jp』



先行研究

留学のインパクトに関する過去の文献

英語文献：326件・日本語文献：17件

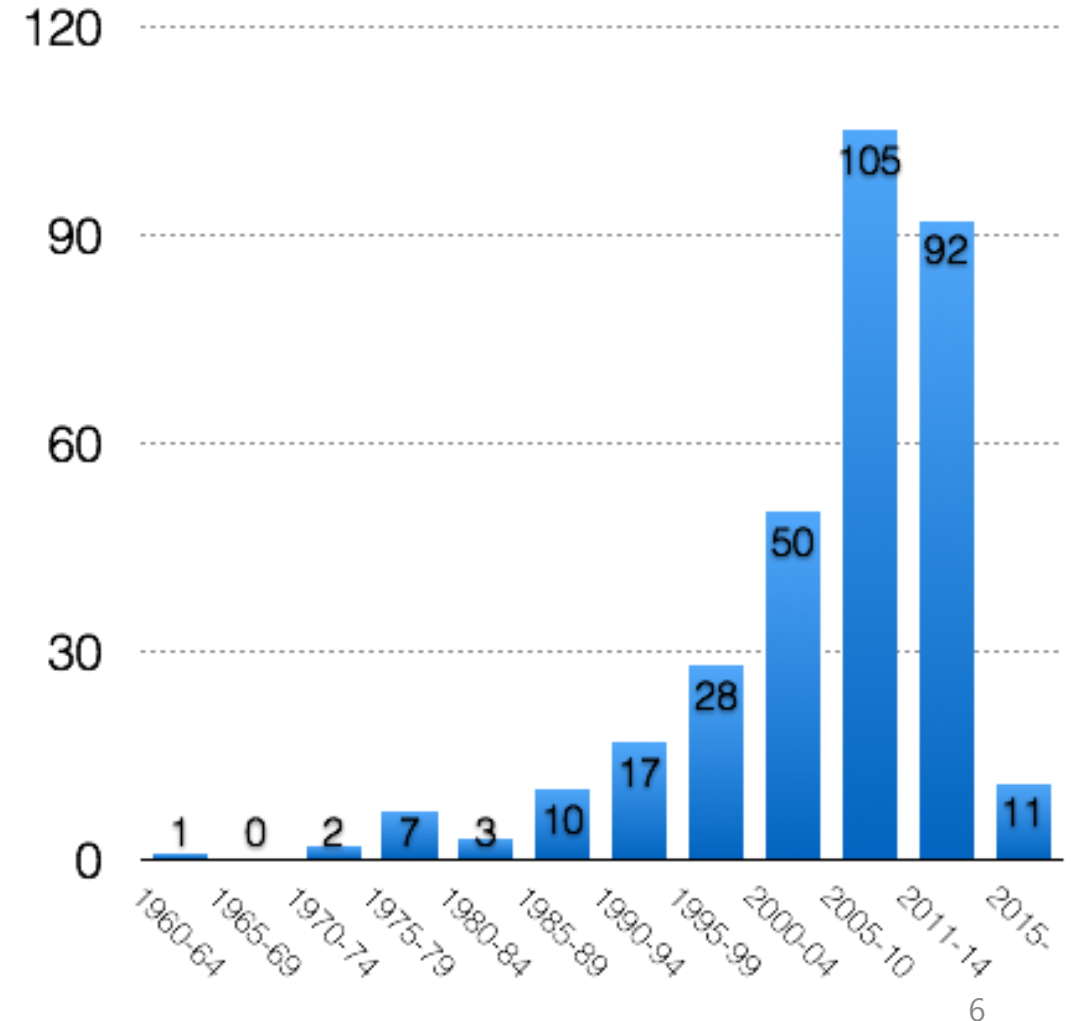
(論文・レポートなどを含む。2015年6月9日現在の数値。継続して調査を行う予定。)

調査の方針：

- ・留学のインパクトに関する複数のビブリオグラフィーを参照。
- ・国際教育・留学に関係のある分野のジャーナル論文などの記事を探索。
- ・見つかった文献内での引用文献を探索。
- ・英語文献の探索でCenter for International Higher Educationのリソースも活用。

年代別傾向：2000年代後半に留学のインパクトに関連した英語文献が米国で増加。

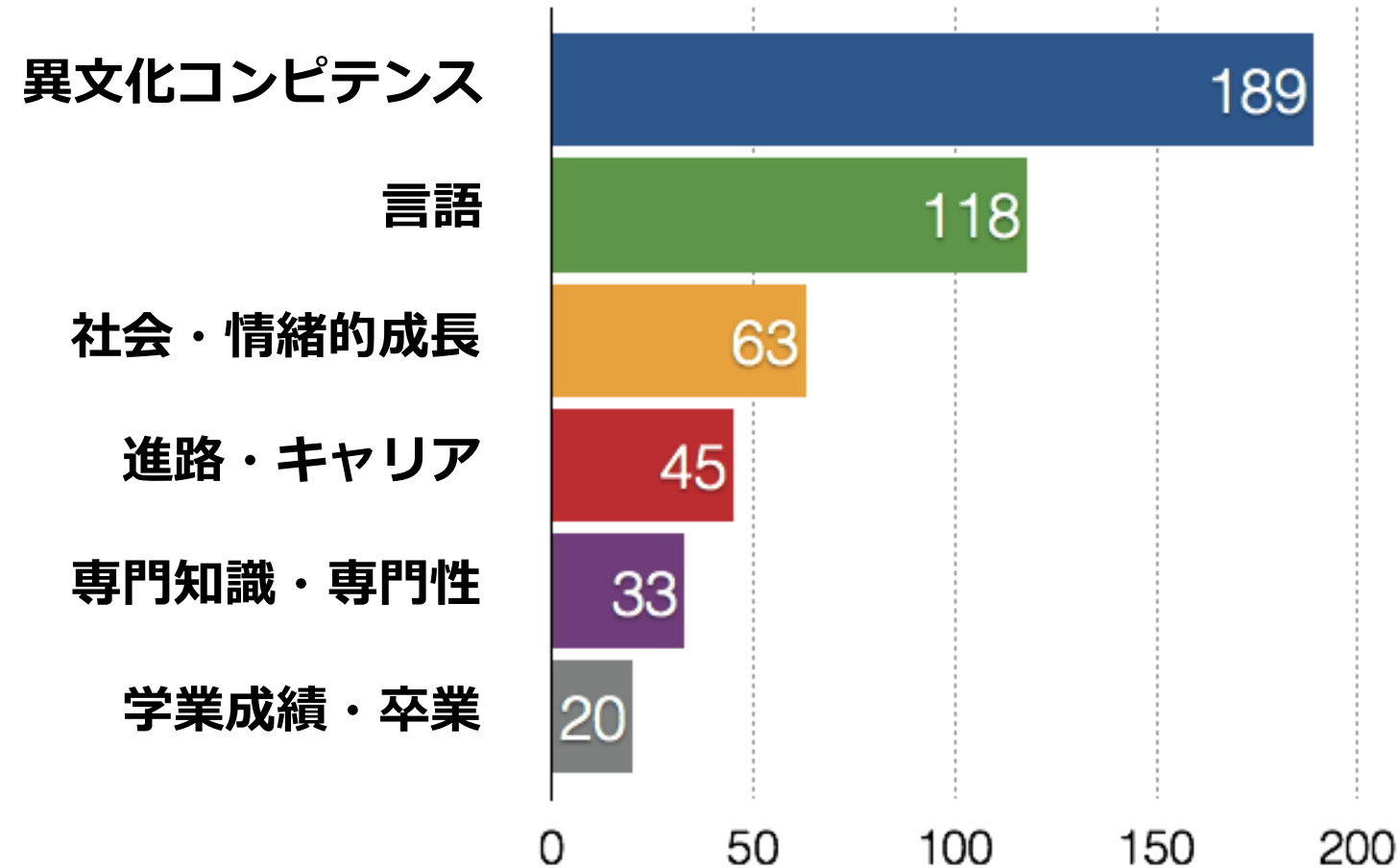
英語文献（年代別）



インパクトの焦点の傾向

英語文献（326件）のインパクトの焦点について、該当するカテゴリに複数カウント。

Mayer-Lee & Evans (2007)のアウトカムアセスメントの領域を参考に分類

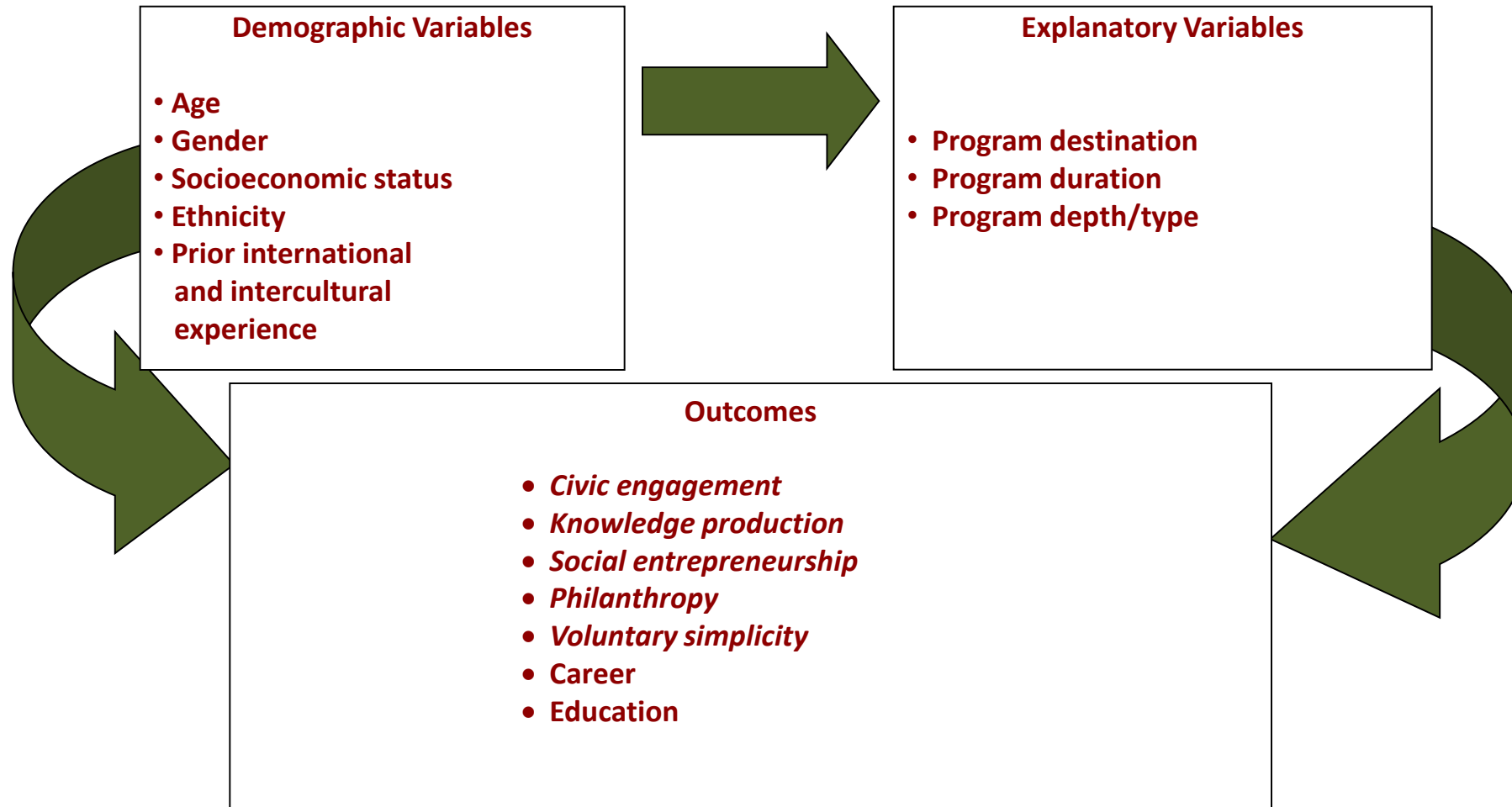


- 異文化コンピテンス（知識・態度・技術）、言語について焦点を当てた研究が多い。
- キャリアに関する研究や留学の中長期的なアウトカム研究のうち、大規模なものは2000年代に行われている。

Study Abroad for Global Engagement (SAGE)

- 1960年から2005年までの約50年間に海外留学した6378名と、留学未経験者5924名に対してサーベイ調査を実施。さらに留学経験者63名に対するインタビューと複数のケーススタディを実施。2006年から2010年まで米国教育省の研究助成を得て行われた。
- **インパクトの焦点**：留学経験の長期的なインパクトとしてグローバルエンゲージメント（国際社会貢献）の5つの側面（市民としての行動、知の創造、フィランソロピー、社会起業、質素儉約）、および、留学後の進学やキャリア選択への影響について。（留学が留学経験者個人だけではなく社会へ与える影響を議論。）
- 留学経験は、特に質素儉約の態度や、留学後の進学・キャリア選択という留学経験者の人生にわたり影響を与えることが明らかになった。
- 本研究調査票の作成においては、SAGEの調査票を参考にし、SAGE研究代表者の一人のDr. Fryにも助言を求めた。

SAGE Model for Assessing the Impact of Study Abroad on Global Engagement



Source: Study abroad for global engagement: the long-term impact of mobility experiences (2009)

Impact of College Experiences on Participants' Lives

	Strong Impact	Some Impact	Little Impact	No Impact	Not Applicable
Athletics/intramural sports	16.8%	21.8%	22.1%	16.2%	22.0%
Community service/volunteer work	22.4%	37.1%	23.2%	6.6%	9.6%
Coursework	65.9%	30.0%	3.1%	2.0%	4.0%
Fraternity/Sorority	8.8%	7.8%	5.9%	11.1%	65.2%
Friendships/student-peer interactions	73.4%	21.7%	3.8%	5.0%	1.0%
Interaction with faculty	37.8%	43.4%	16.1%	2.1%	2.0%
Internship (in the U.S.)	20.9%	20.5%	9.0%	5.6%	43.1%
Religious organization	7.6%	12.8%	14.9%	22.3%	41.6%
Student clubs	13.2%	28.5%	29.1%	12.2%	16.1%
Student government	2.2%	6.7%	16.6%	28.7%	44.4%
Study abroad	83.3%	14.8%	1.4%	1.0%	1.0%
Work/employment during college	27.2%	36.9%	19.5%	5.2%	10.2%
N=6391					

Source: Study abroad for global engagement: the long-term impact of mobility experiences (2009)

質問調査の結果

留学のインパクト：質問項目と有効回答数

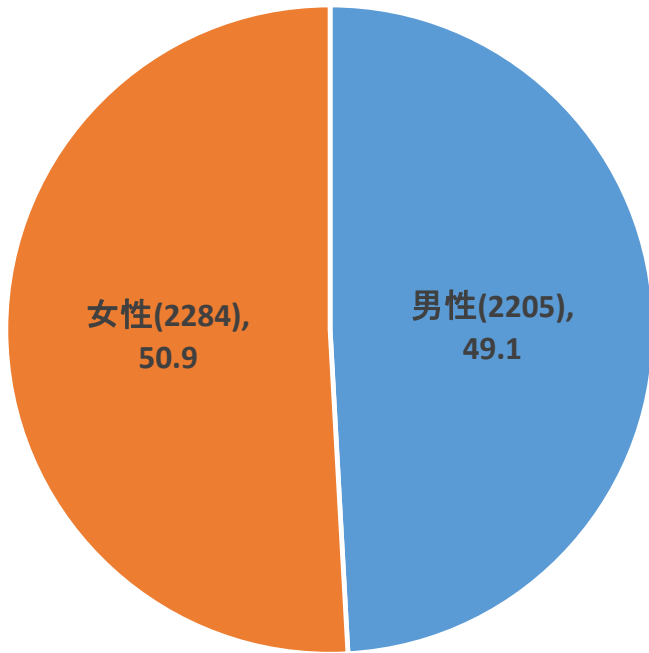
分類	質問	自己（主観的）評価スケール	項目数	有効回答数
能力	留学の結果、次のような能力が向上したと思いますか。	4（つよくそう思う）－1（全くそう思わない）	18	4,489
	現在、日本語以外に使える言語とそのレベルは。また、現在の仕事で、どの程度使っているかもお答えください。	言語レベル 1（ネイティブ並） 2（仕事上十分なコミュニケーションができる） 3（仕事上ある程度コミュニケーションができる） 4（日常会話程度） 使用頻度 1（かなり使っている）－4（全く）使っていない	2	4,489
キャリア	海外留学が、キャリアにどの程度影響を与えたと思いますか。	4（つよくそう思う）－1（全くそう思わない）	6	4,486
	海外留学経験に関することが、採用の際にどの程度評価されたと思いますか。	4（つよくそう思う）－1（全くそう思わない）	4	4,483
	現在の職場における同年代の留学未経験者と比較して、キャリアの処遇上でどのような違いがありますか。	5（かなり高い）－1（かなり低い）	7	2,836
意識・行動	海外留学の結果、次のような意識がどの程度高まったと思いますか。	4（つよくそう思う）－1（全くそう思わない）	16	4,488
	海外留学の結果、次のような行動へのかかわりがどの程度多くなったと思いますか。	4（よく参加している）－1（全く参加していない）	8	4,487
態度・価値	以下のそれぞれの項目について当てはまるものを一つ選んでください。	4（Aに近い）－1（Bに近い）	8	4,486
人生の満足度	以下のそれぞれの項目について当てはまるものを一つ選んでください。	4（つよくそう思う）－1（全くそう思わない）	6	4,487

回答者属性

年代（現在の年齢）

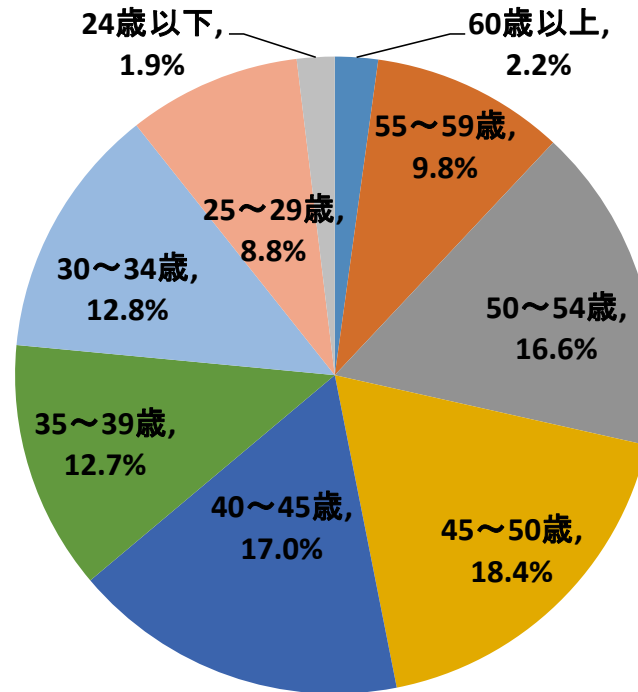
性別

n=4,489



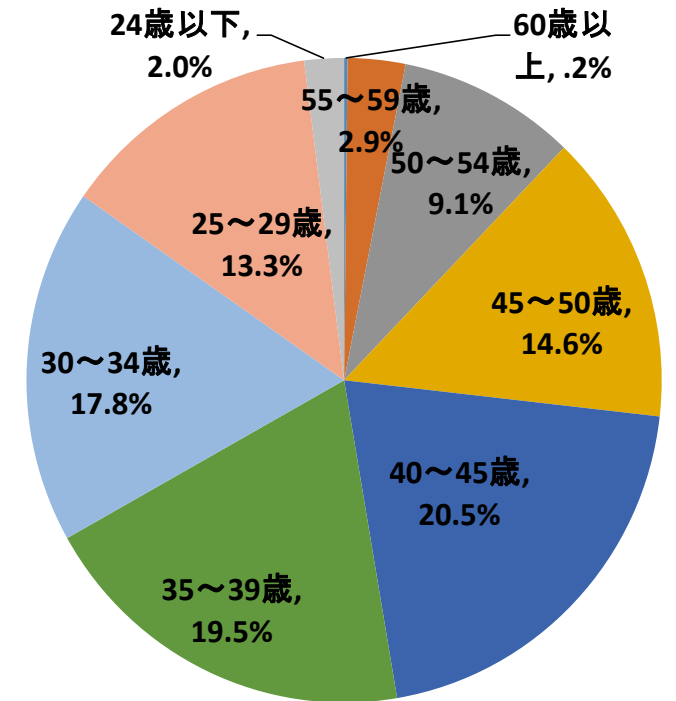
男性

n=2,205



女性

n=2,284



全体的な集計結果

留学への傾向

留学の留学先学校種別
(留学回数別：1回留学・2回以上の留学) n=4,489

	高校	大学	大学院 (修士)	大学院 (博士)	語学学校	その他	合計
全留学回数 (D)	238	2,079	568	229	1,706	390	5,210
1回の留学経験	74 2.1%	1,522 42.7%	429 12.0%	129 3.6%	1,205 33.8%	207 5.8%	3,566 100%
2回以上の留学経験* (A)	164 10.0%	557 33.9%	139 8.5%	100 6.1%	501 30.5%	183 11.1%	1,644 100%
2回以上の留学経験 の中で最も重要な留 学先学校種別と回答 した数 (B)	69 7.5%	348 37.7%	139 15.1%	73 7.9%	186 20.2%	108 11.7%	923 100%
B/A	42.1%	62.5%	100%	73.0%	37.1%	59.0%	56.1%

2回以上の留学経験 の中で2回目以降の 留学を最も重要と回 答した数 (C)	3	242	123	66	77	86	597
C/B	4.3%	69.5%	88.5%	90.4%	41.4%	79.6%	64.7%

*2回以上の留学経験の内訳(留学回数別)

	2回	3回	4回	5回以上	合計
留学経験者数	729	164	25	5	923

1回の留学経験者

- 3,566人で、全回答者数 (4,489人) の79.4%
- 大学の留学が最も多く42.7%、次いで語学学校が33.8%

2回以上の留学経験者

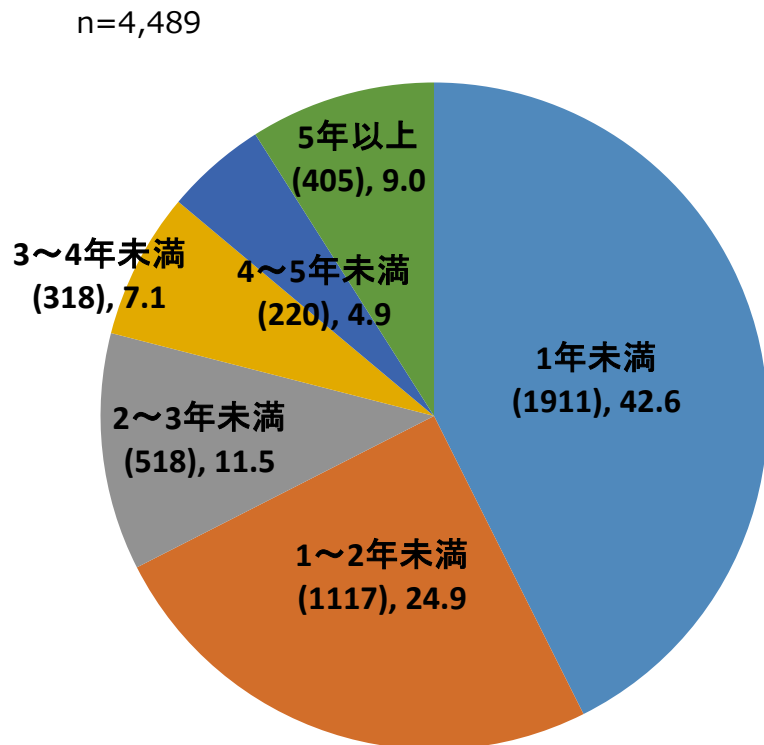
- 923人で、全回答者数の20.6%
- より上位の留学先学校種別において、最も重要な留学とする回答の割合が高い。

本発表の分析においては、留学経験が複数回ある場合、回答者にとって最も重要な海外留学経験についての回答となっている。

留学傾向

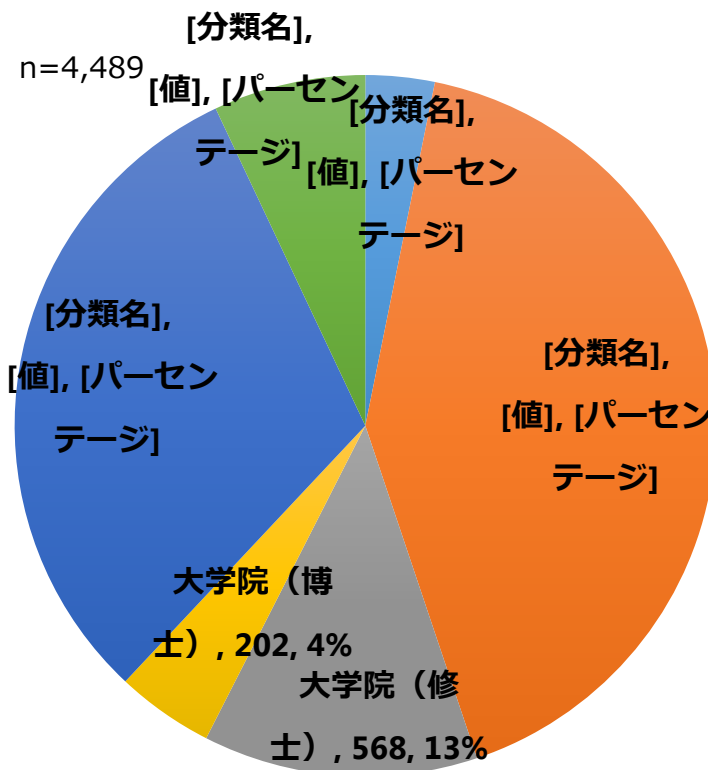
留学期間 (合計)

留学期間は合計でも1年未満が最も多く43%を占める。



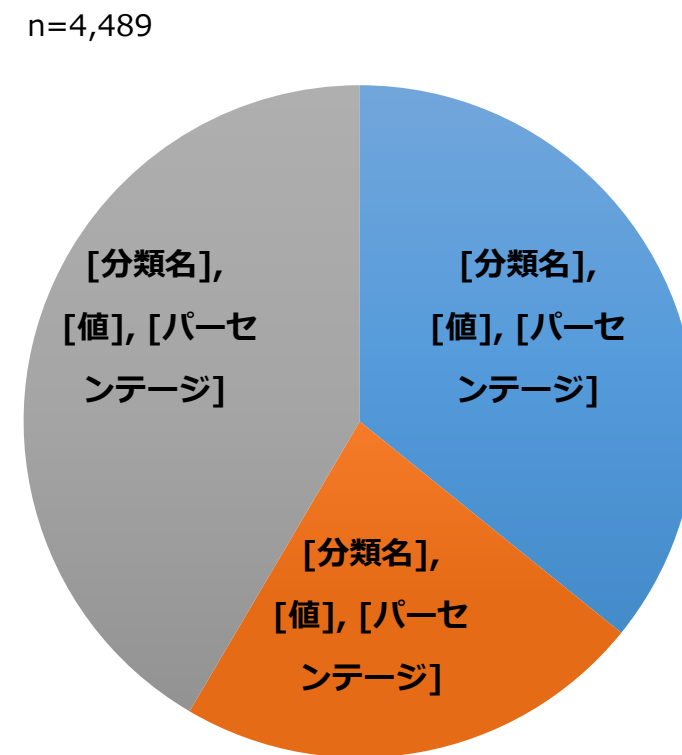
留学先学校種別

大学(42%)と語学学校(31%)の留学で7割。



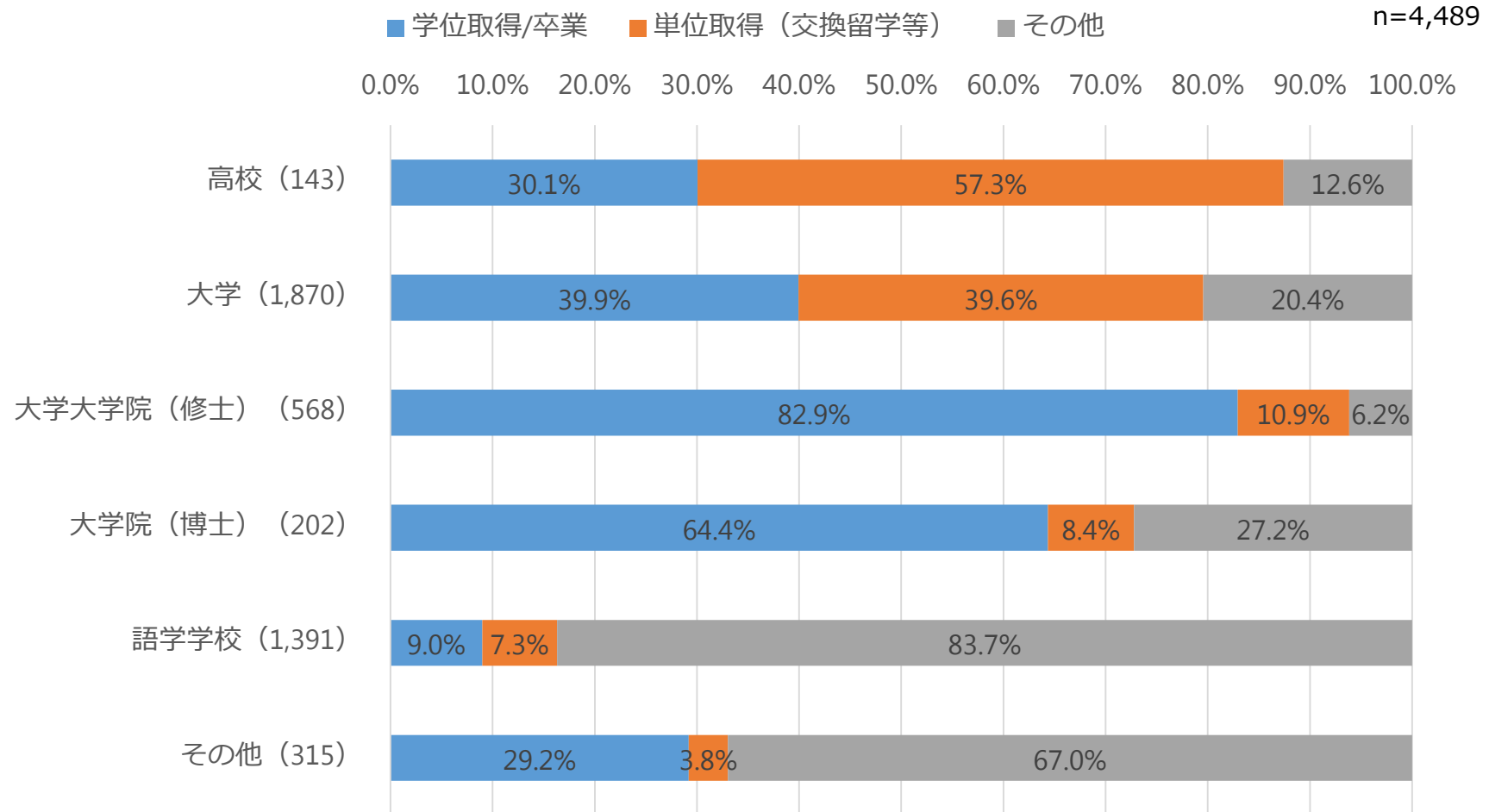
留学形態

学位取得/卒業を目的とした留学は36%



留学への傾向

留学先学校種別×留学形態

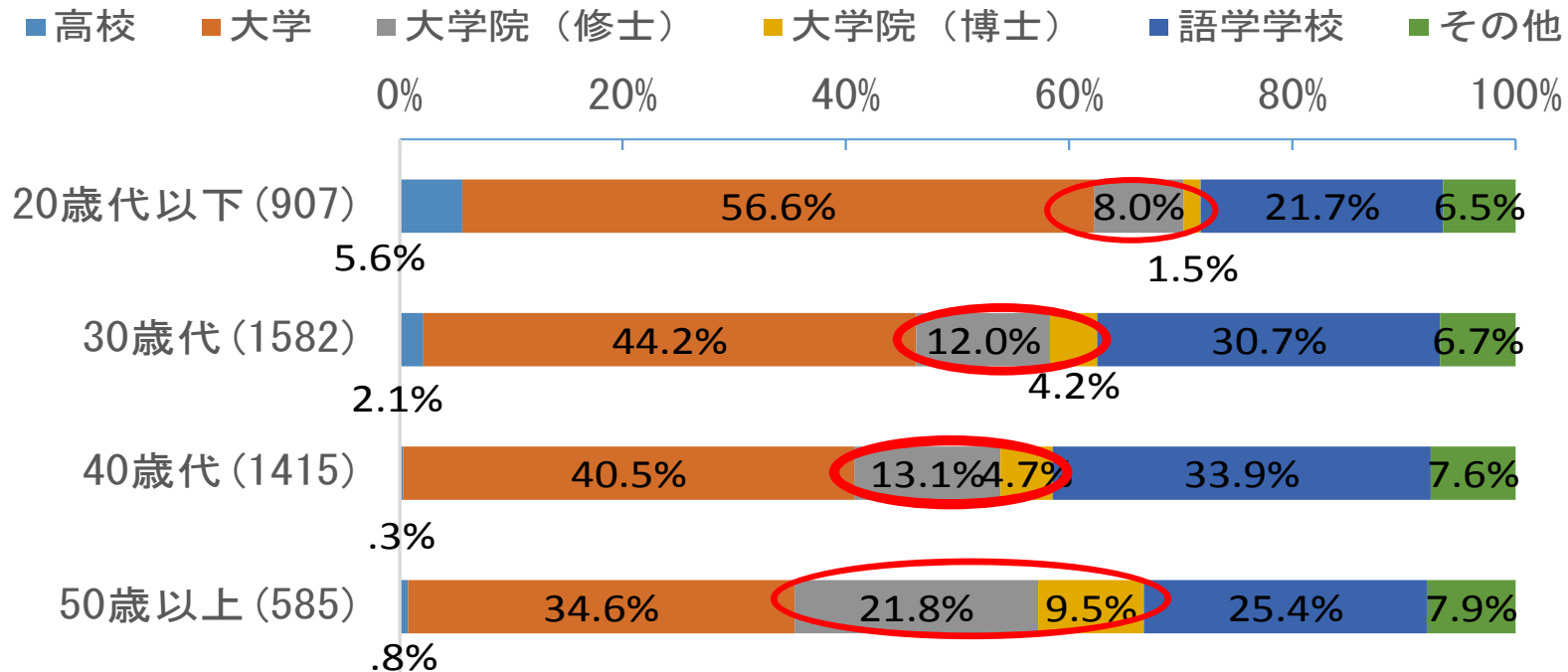


留学への傾向

年代別
(現在の年齢別)

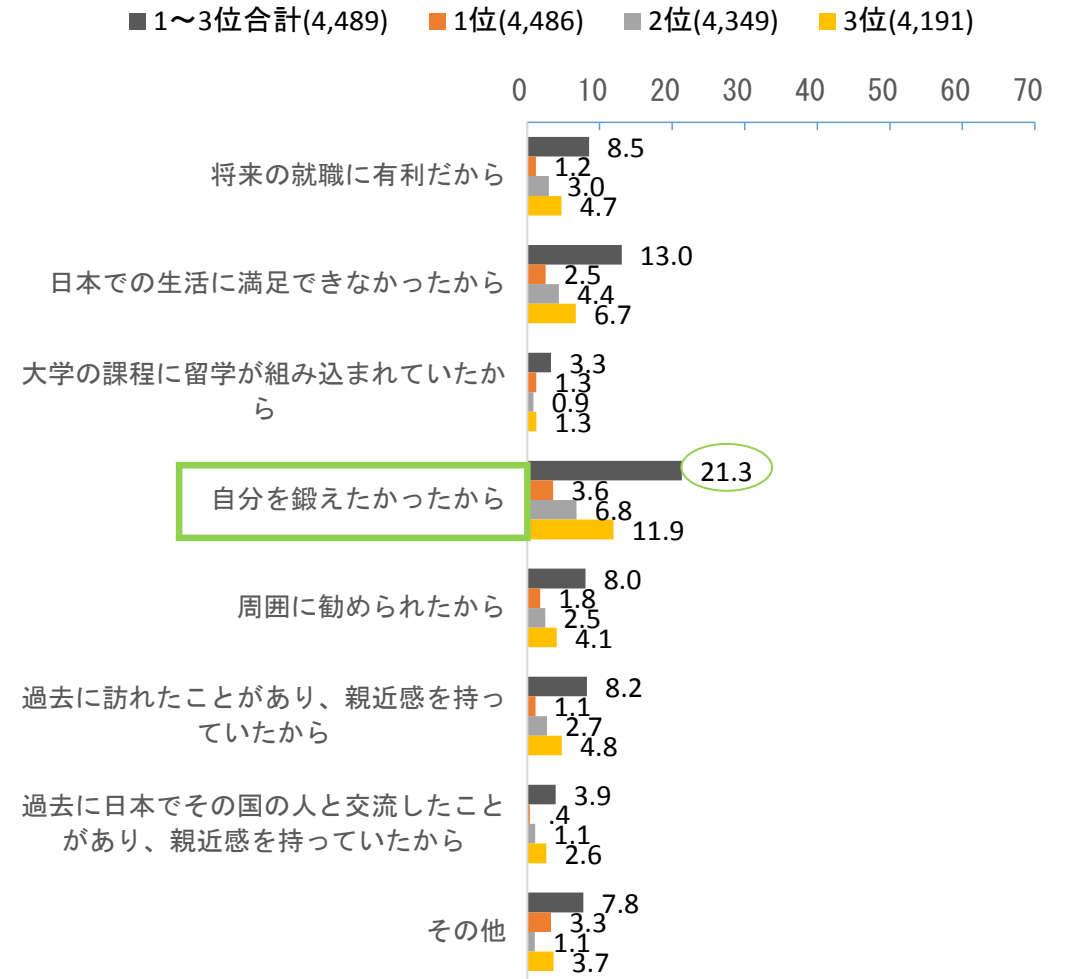
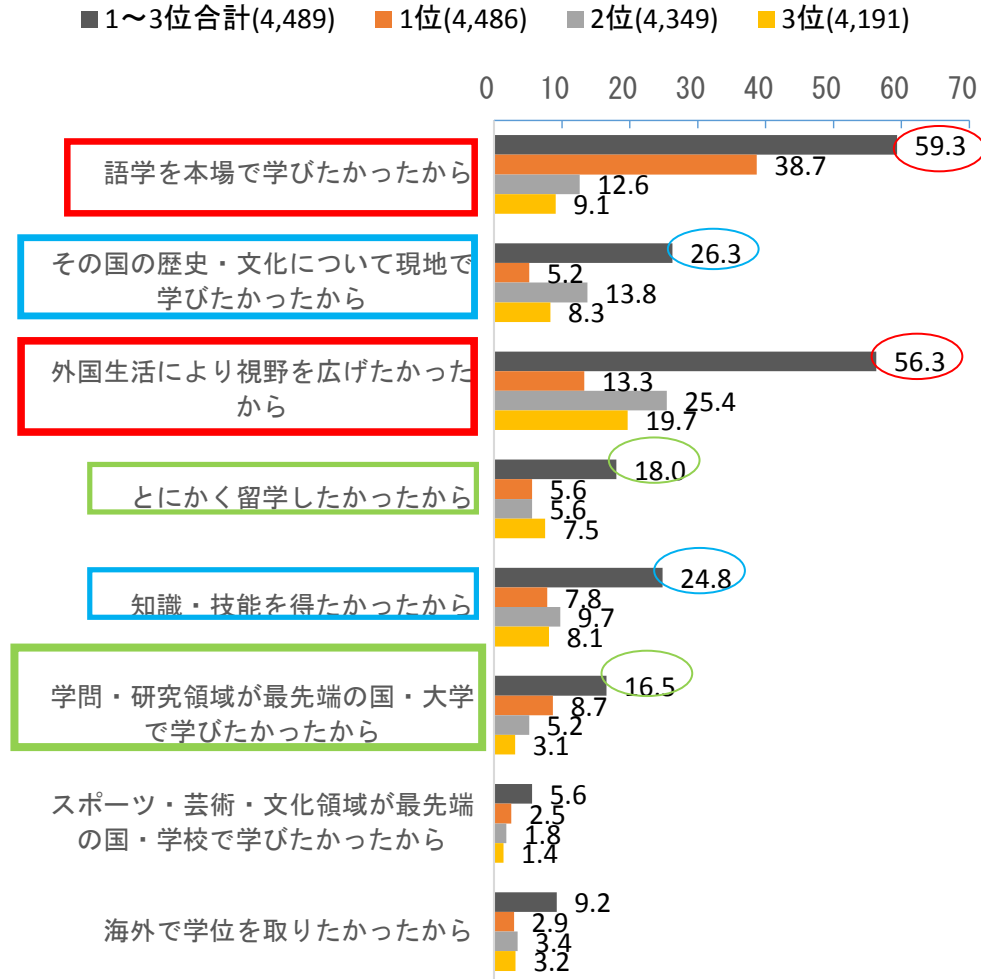
留学経験のうち最も上位の留学先学校種別

現在の年齢が上がるほど、上位の学位課程（大学院）に留学した傾向が見られる。



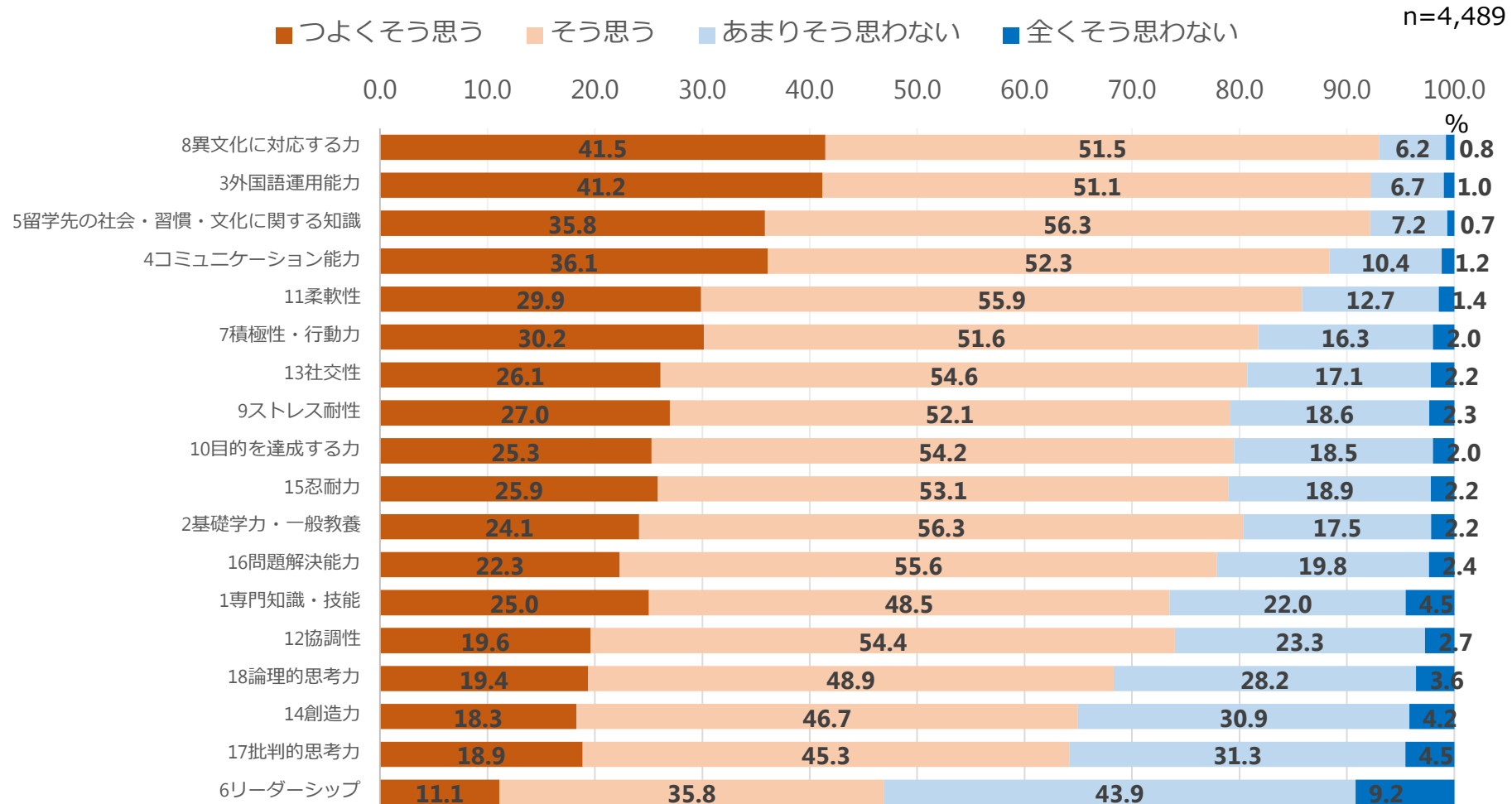
留学への傾向

留学をした主な理由を最大3つまで、1~3位で順位づけ。



留学の中長期的なインパクト：能力

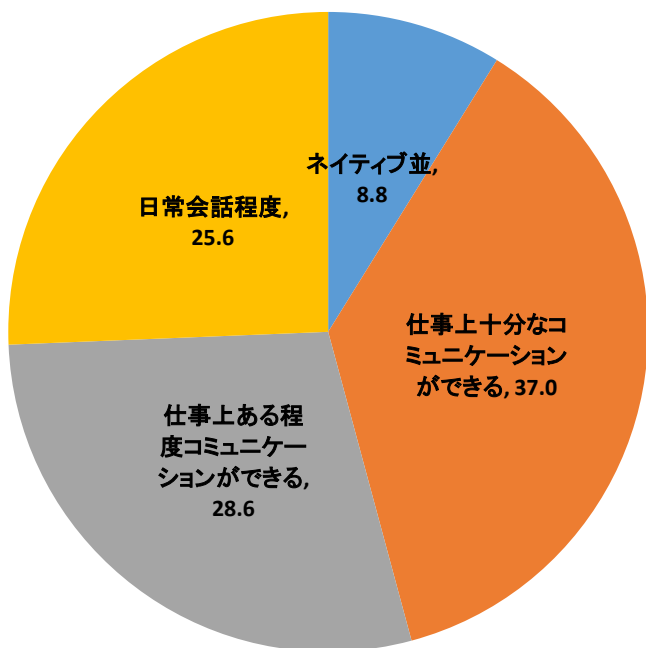
留学の結果、次のような能力が向上したと思いますか。



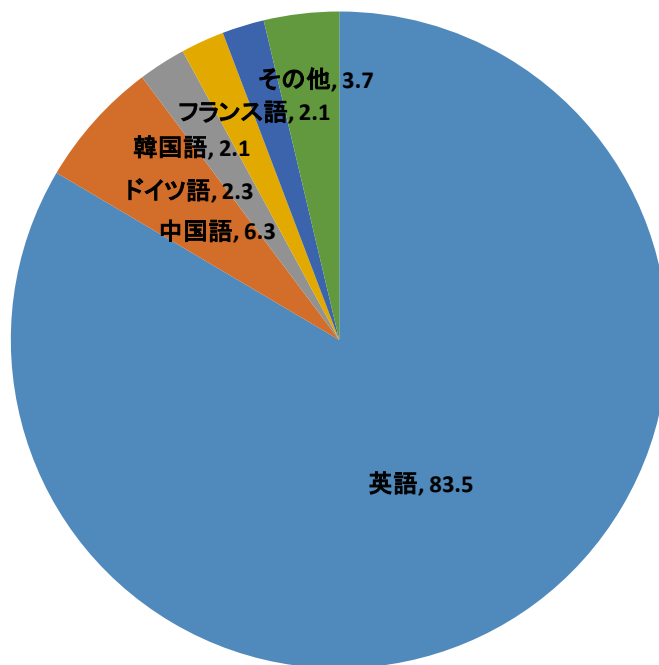
留学の中長期的なインパクト：能力

現在、日本語以外に使える言語とそのレベルは。また、現在の仕事で、どの程度使っていますか。

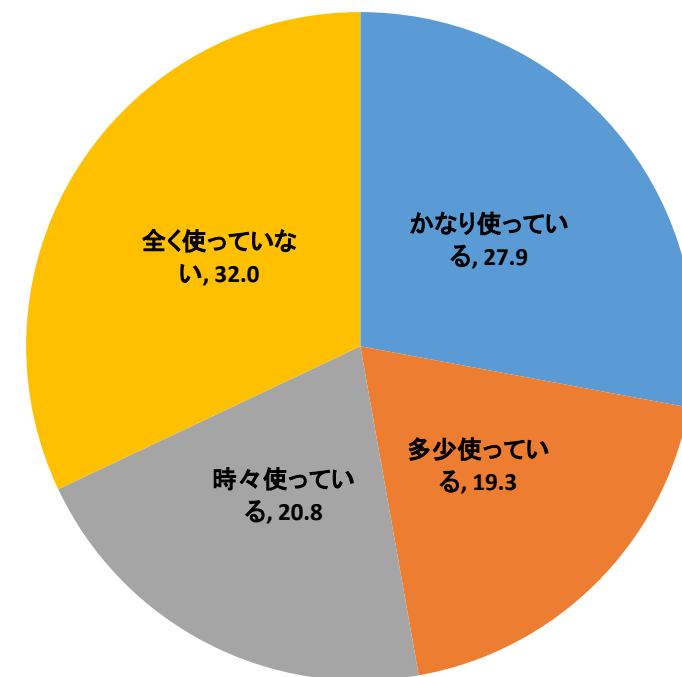
最もレベルが高いと回答した
現在の外国語のレベル
n=4,489
(内4,014が英語)



一番レベルの高い言語
n=4,489



一番レベルの高い言語の
仕事での利用頻度
n=4,489
(内4,014が英語)

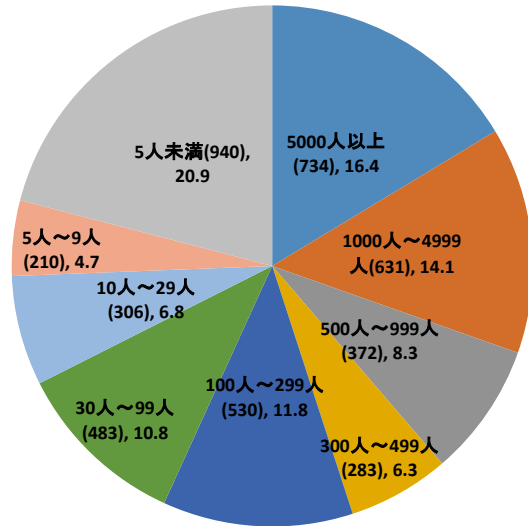


回答者の属性

あなたの現在の職業をお答えください。

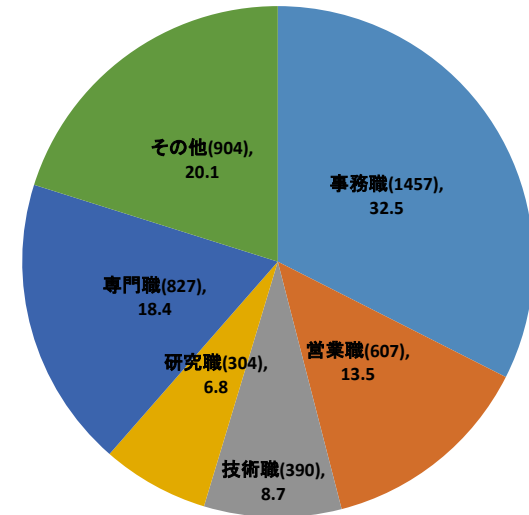
従業員規模

n=4,489



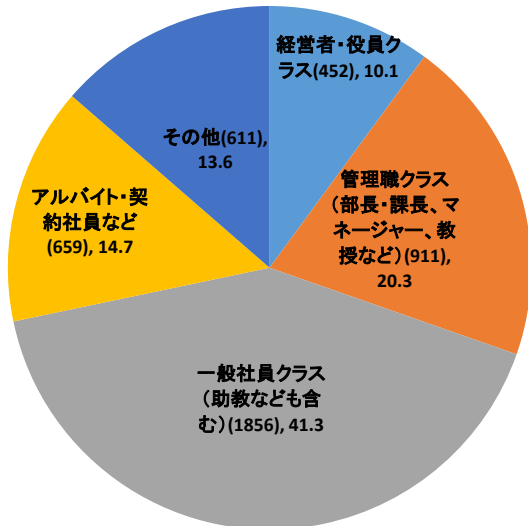
職種

n=4,489



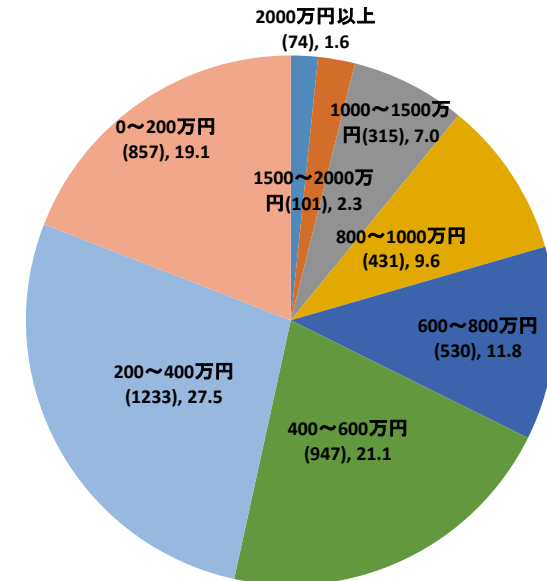
役職

n=4,489



年収

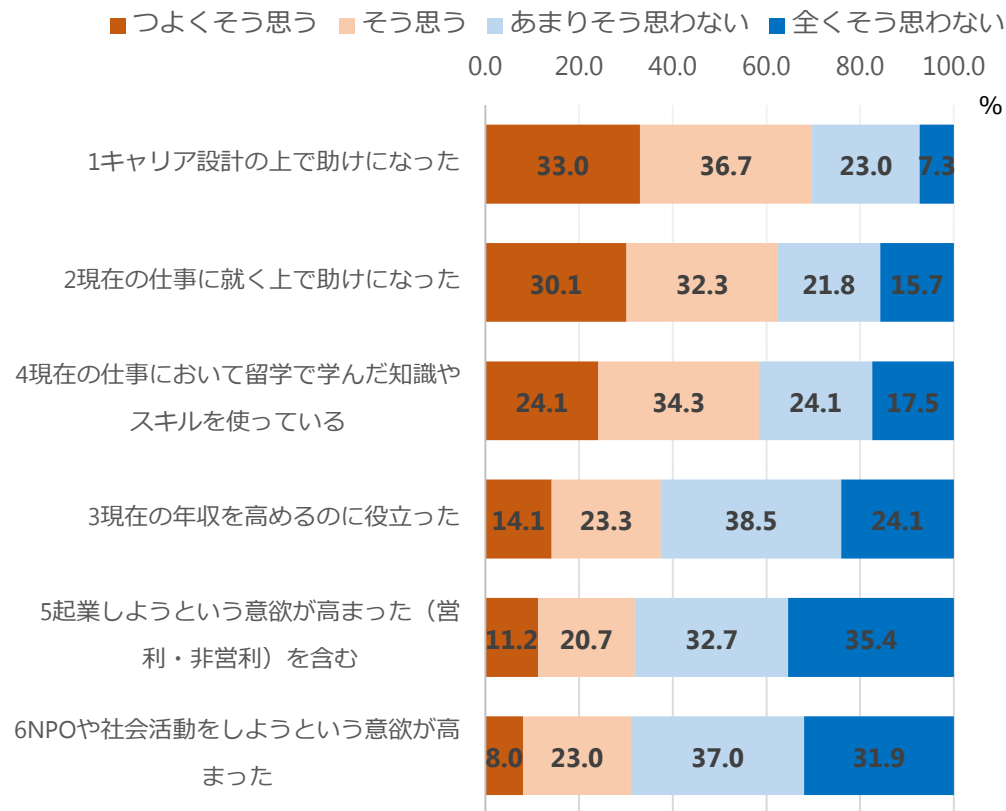
n=4,488



留学の中長期的なインパクト：キャリア

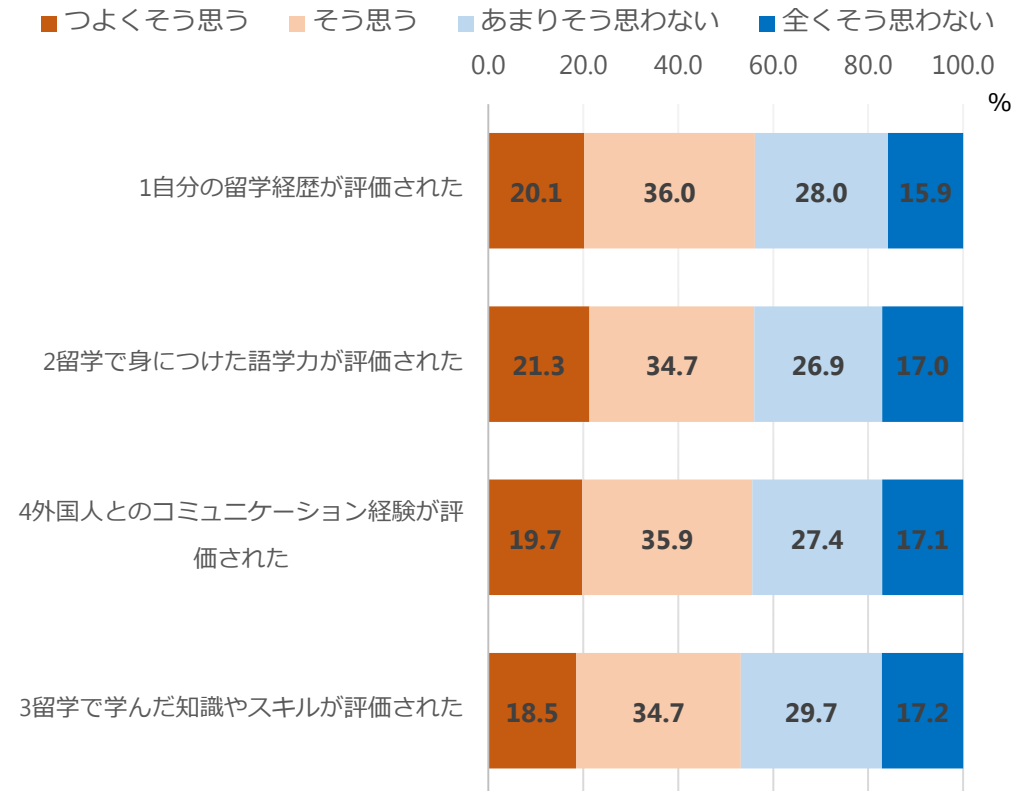
海外留学が、キャリアにどの程度影響を与えたと思いますか。

n=4,486



海外留学経験に関することが、採用の際にどの程度評価されたと思いますか。

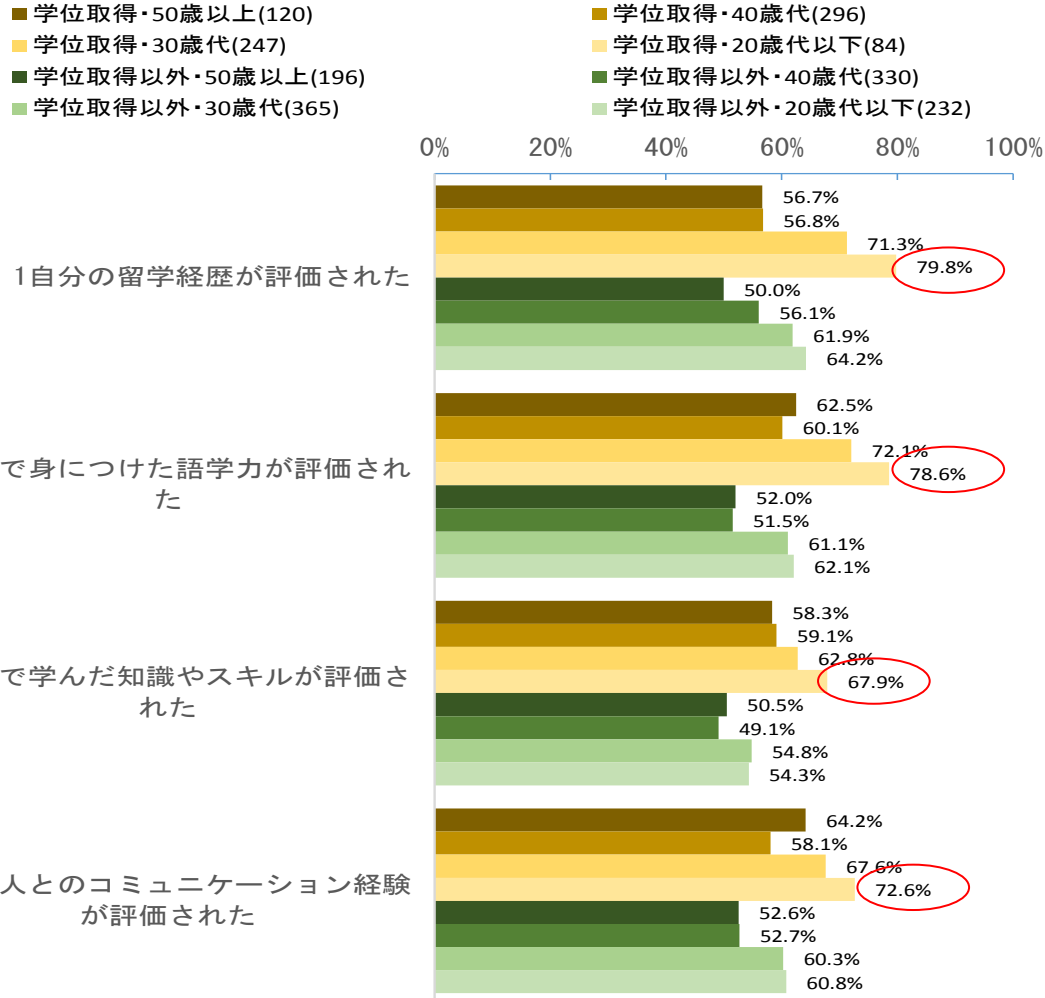
n=4,483



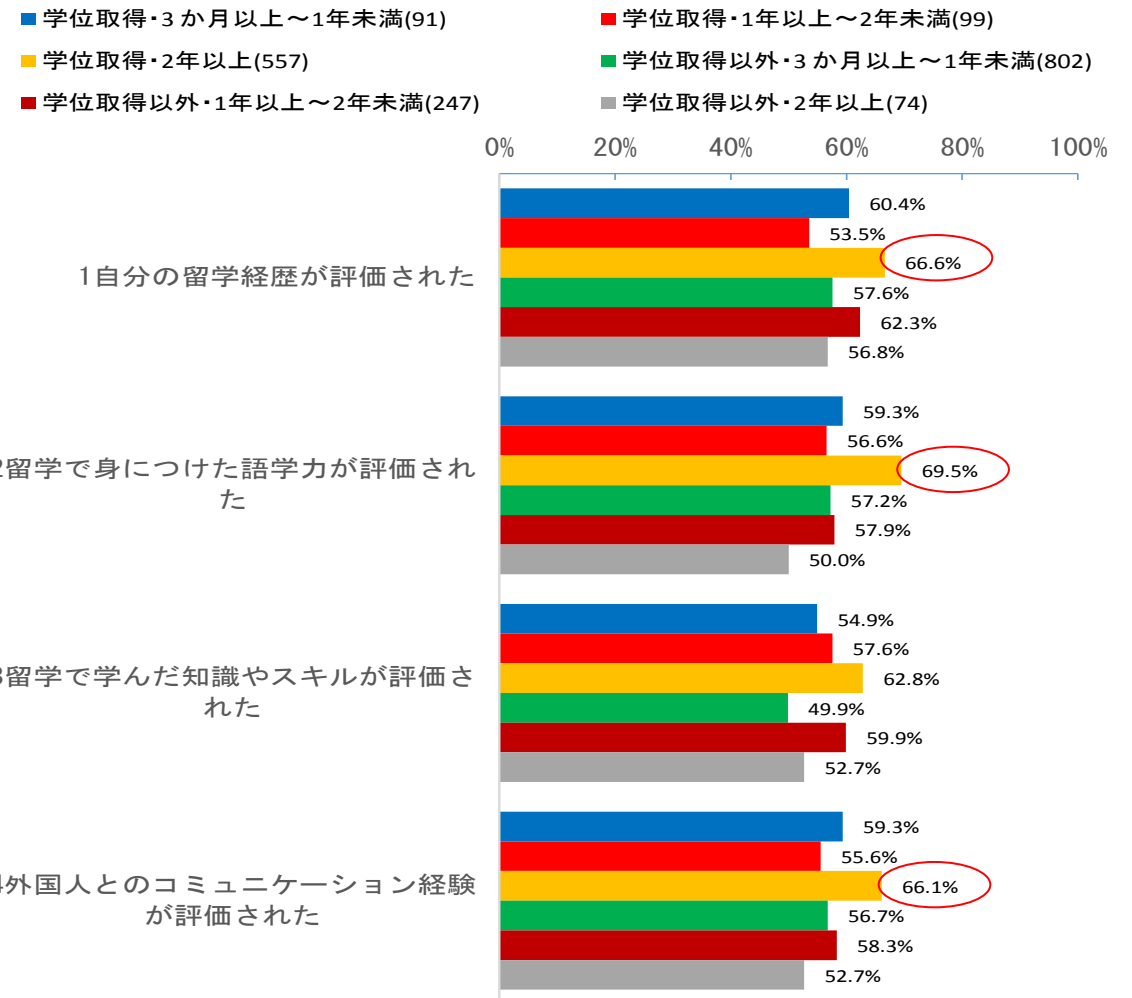
海外留学のインパクト

現在の年齢が若い方が採用へのインパクトは大きい。学位取得と学位取得以外で留学経歴の評価はさほど大きくはかわらない。

採用における評価（年代別）



採用における評価（留学期間別）

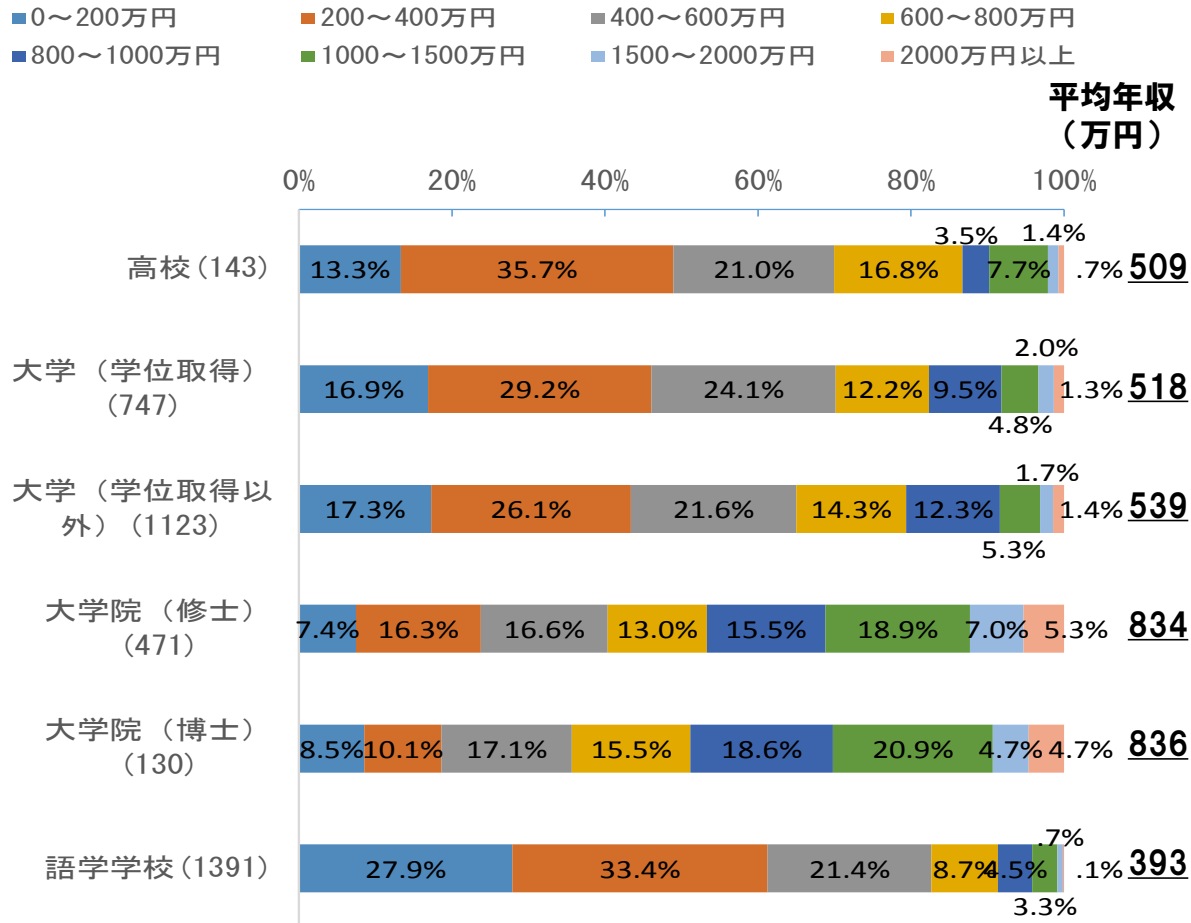


※「つよくそう思う」「そう思う」の回答を集計

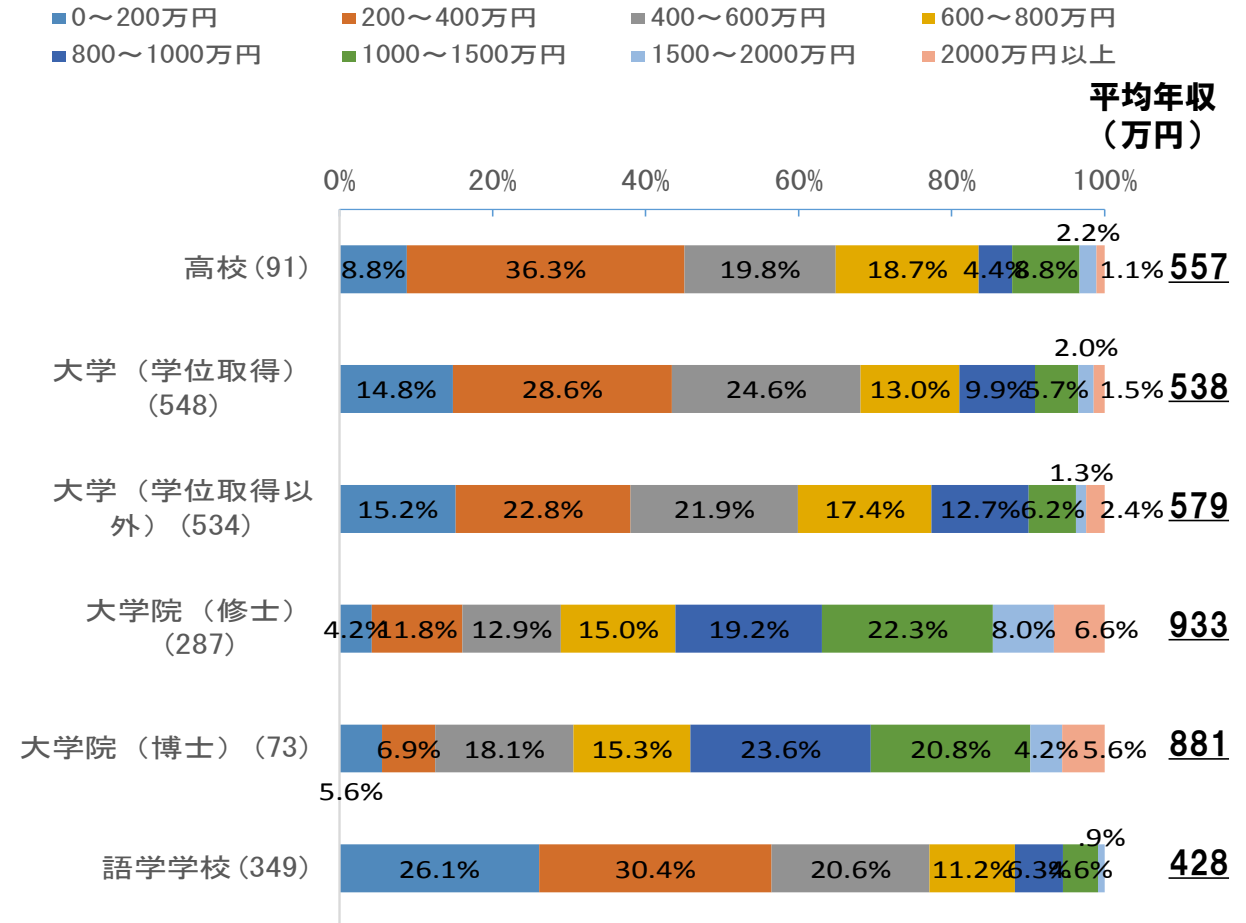
海外留学のインパクト

年収を比べると、アメリカ留学の方が全体的に高いことがわかる。

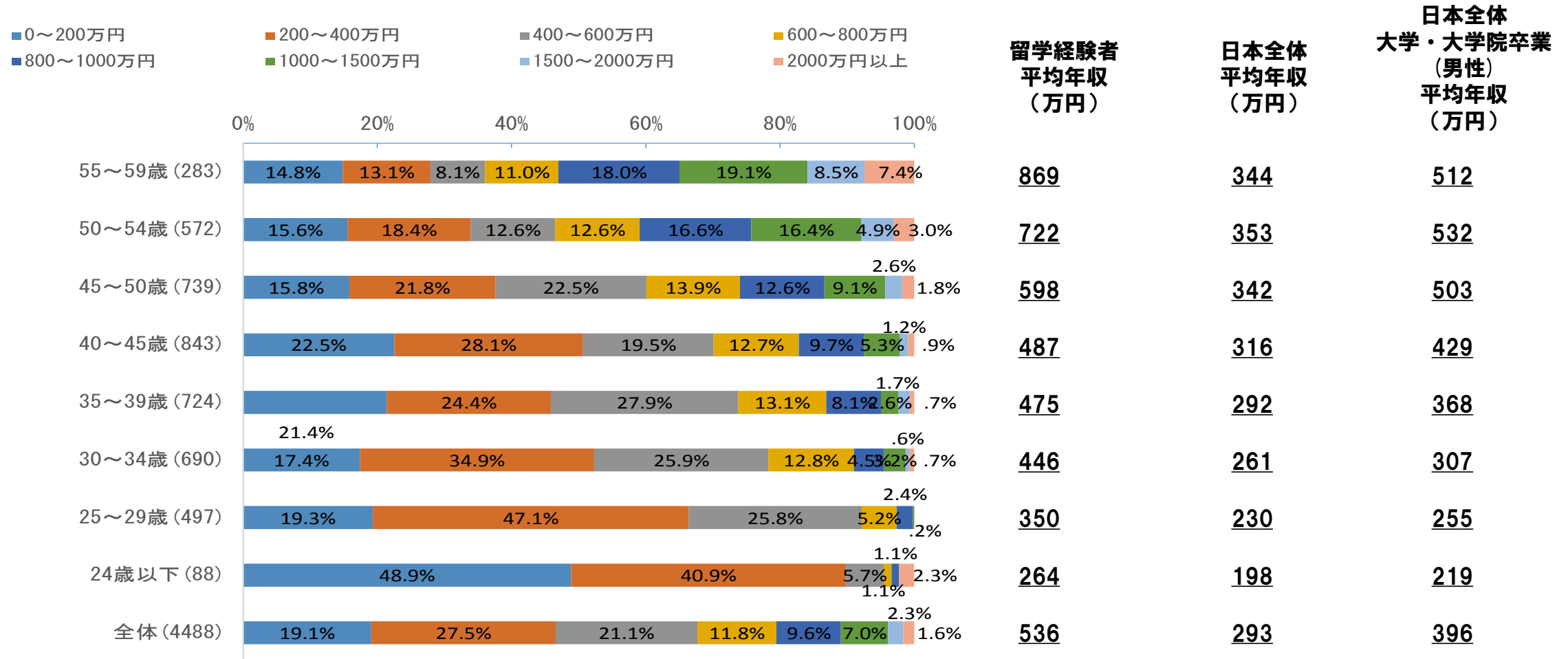
現在の年収（全体）



現在の年収（アメリカ留学のみ）



(参考) 平均年収の比較 (年齢階層別)

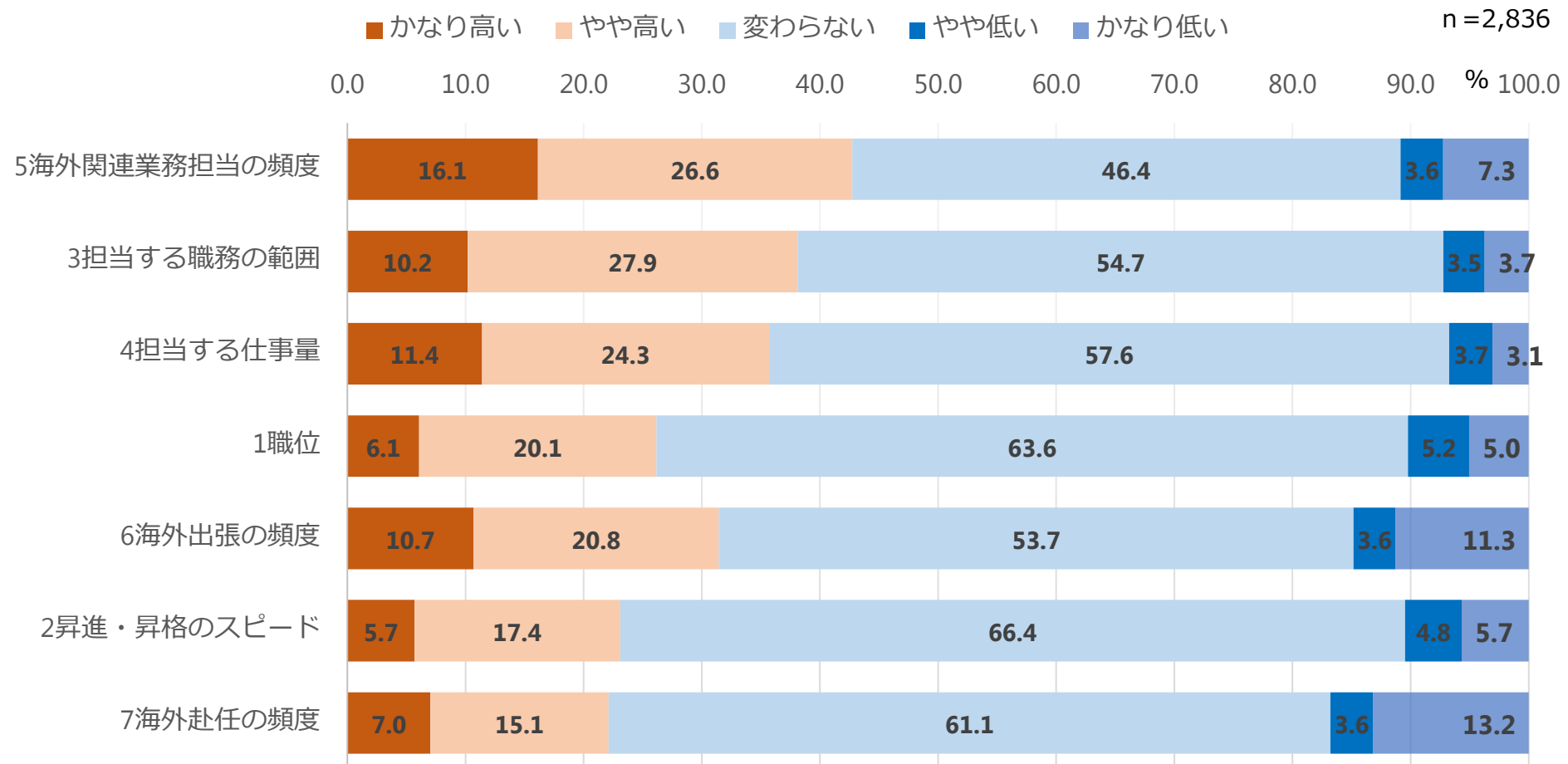


※留学経験者の平均年収は各年収階級の中央値をもとに、加重平均で算出

※日本全体の平均年収の出典：平成26年賃金構造基本統計調査（男女別平均年収）および平成26年度民間給与の実態調査結果（年齢階層別給与所得者人口）より算出

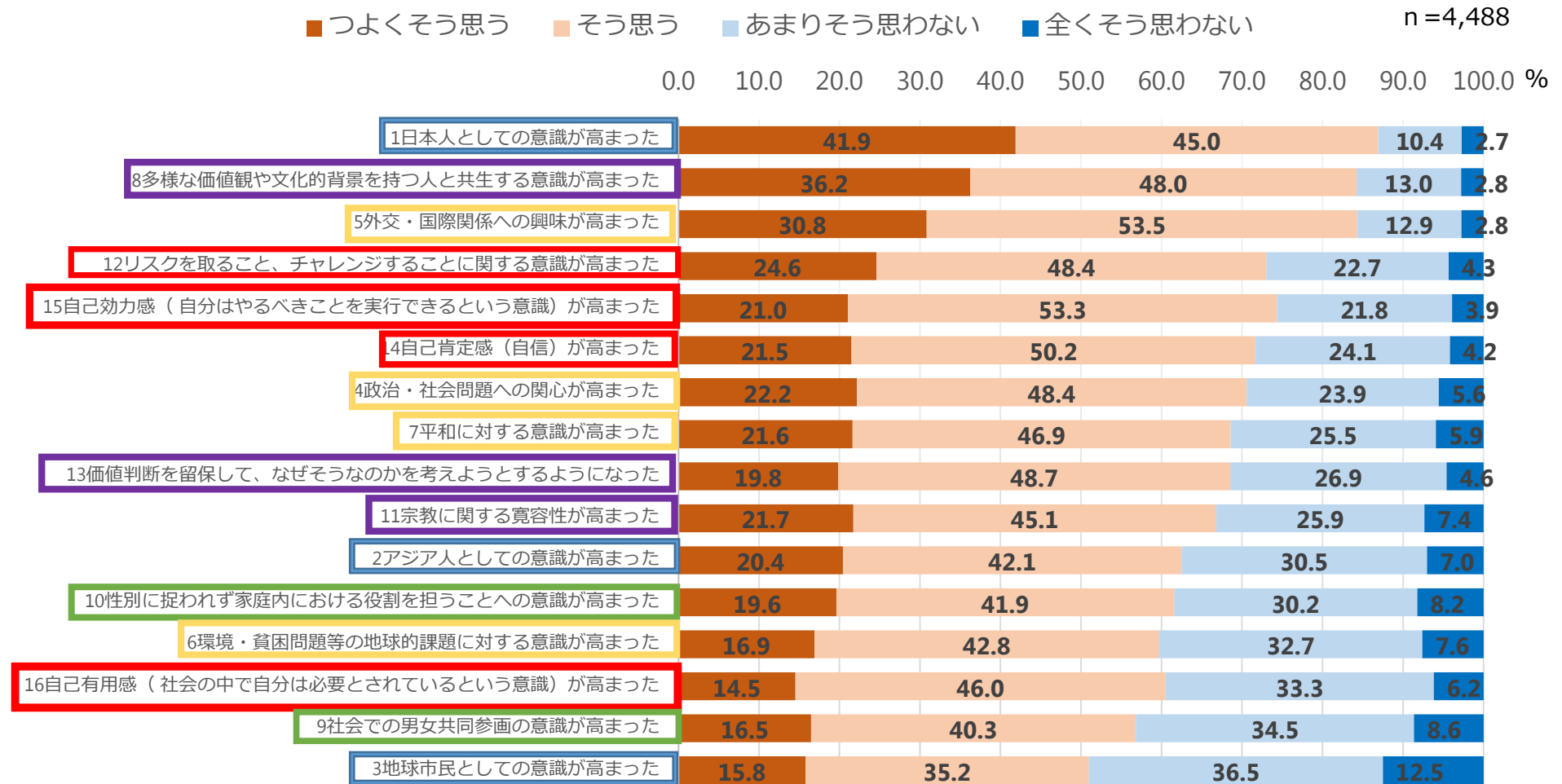
留学の中長期的なインパクト：キャリア

現在の職場における同年代の留学未経験者と比較して、キャリアの処遇上でどのような違いがありますか。



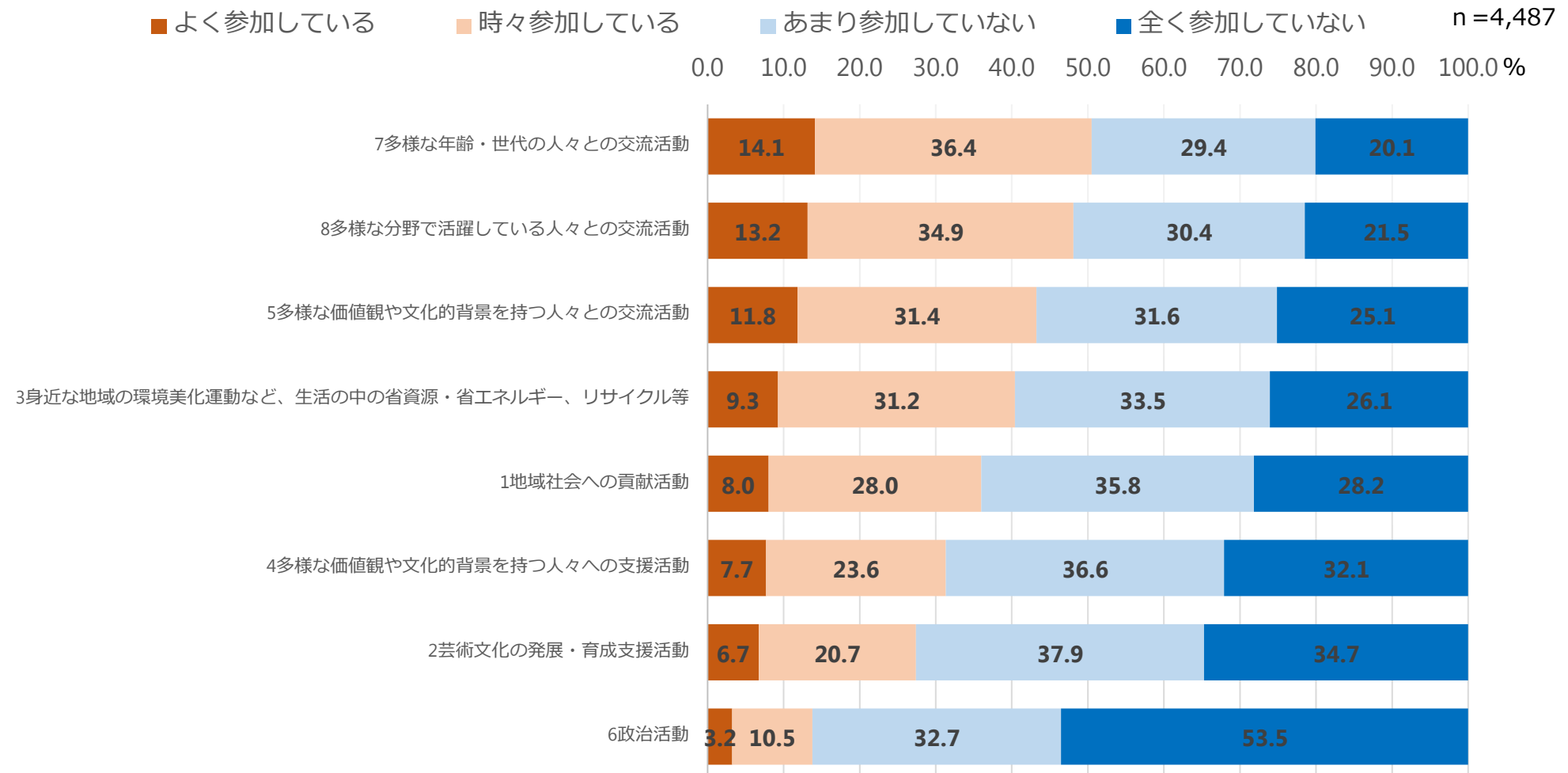
留学の中長期的なインパクト：意識・行動

海外留学の結果、次のような意識がどの程度高まったと思いますか。



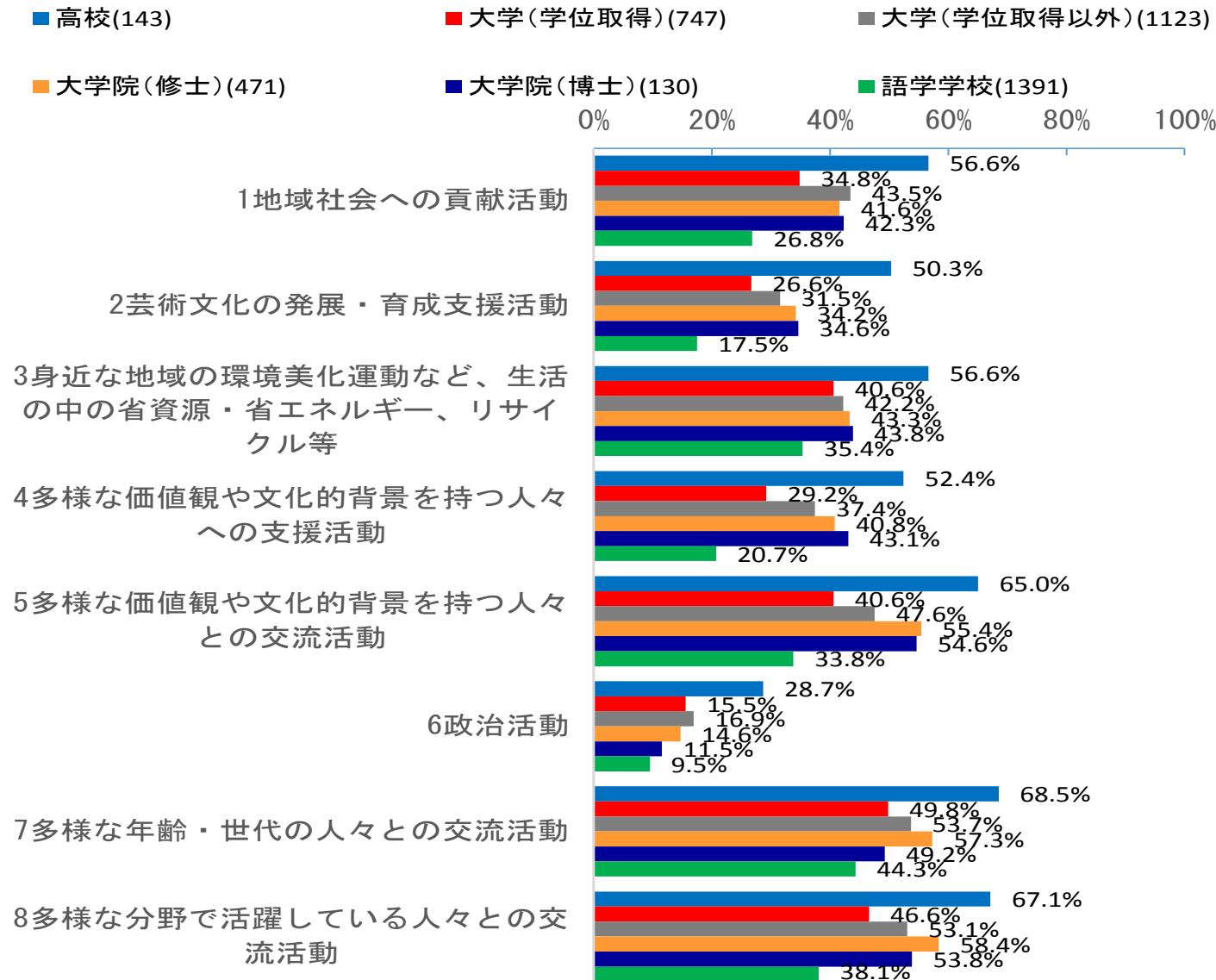
留学の中長期的なインパクト：意識・行動

海外留学の結果、次のような行動へのかかわりがどの程度多くなったと思いますか。



海外留学のインパクト

業務外の活動への参加（全体）

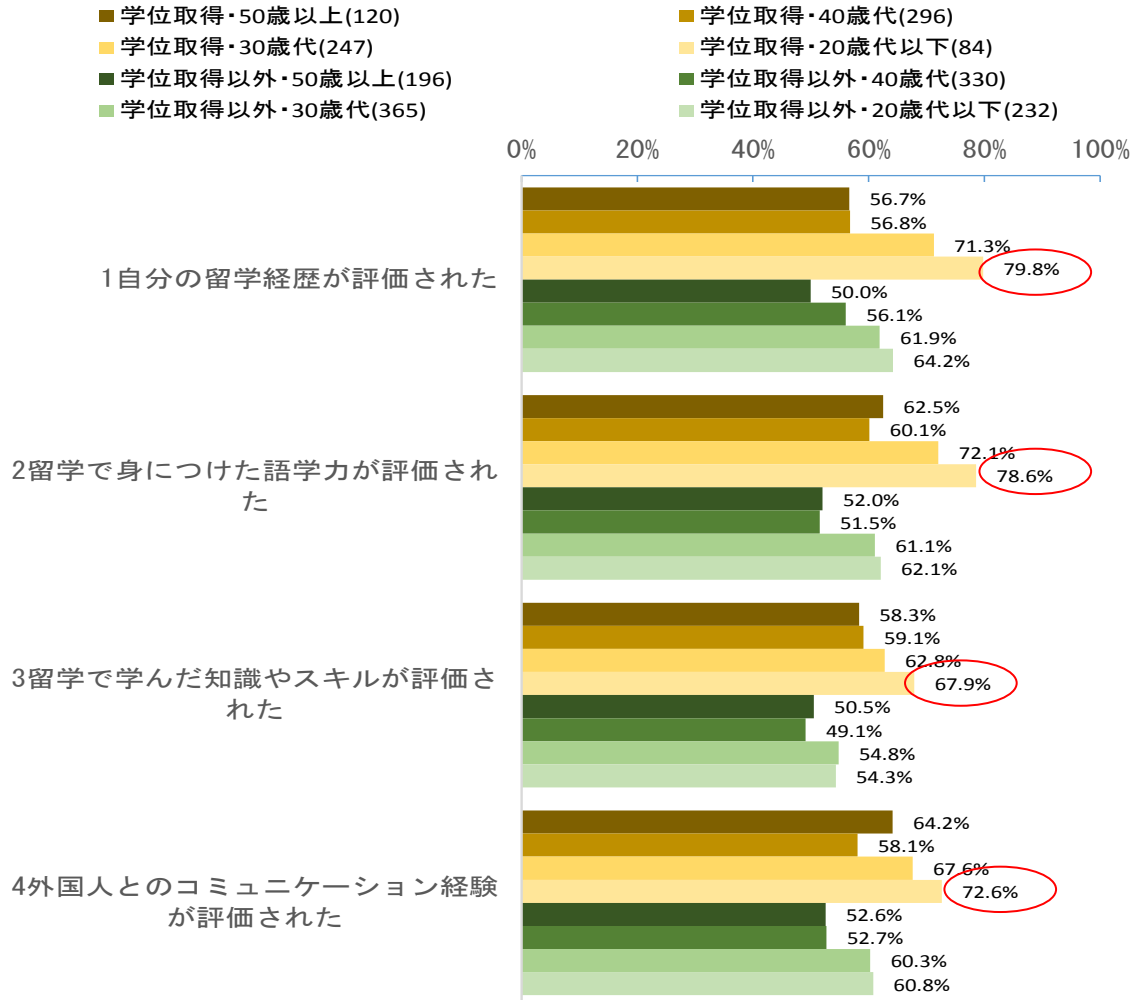


※「よく参加している」「時々参加している」の回答を集計

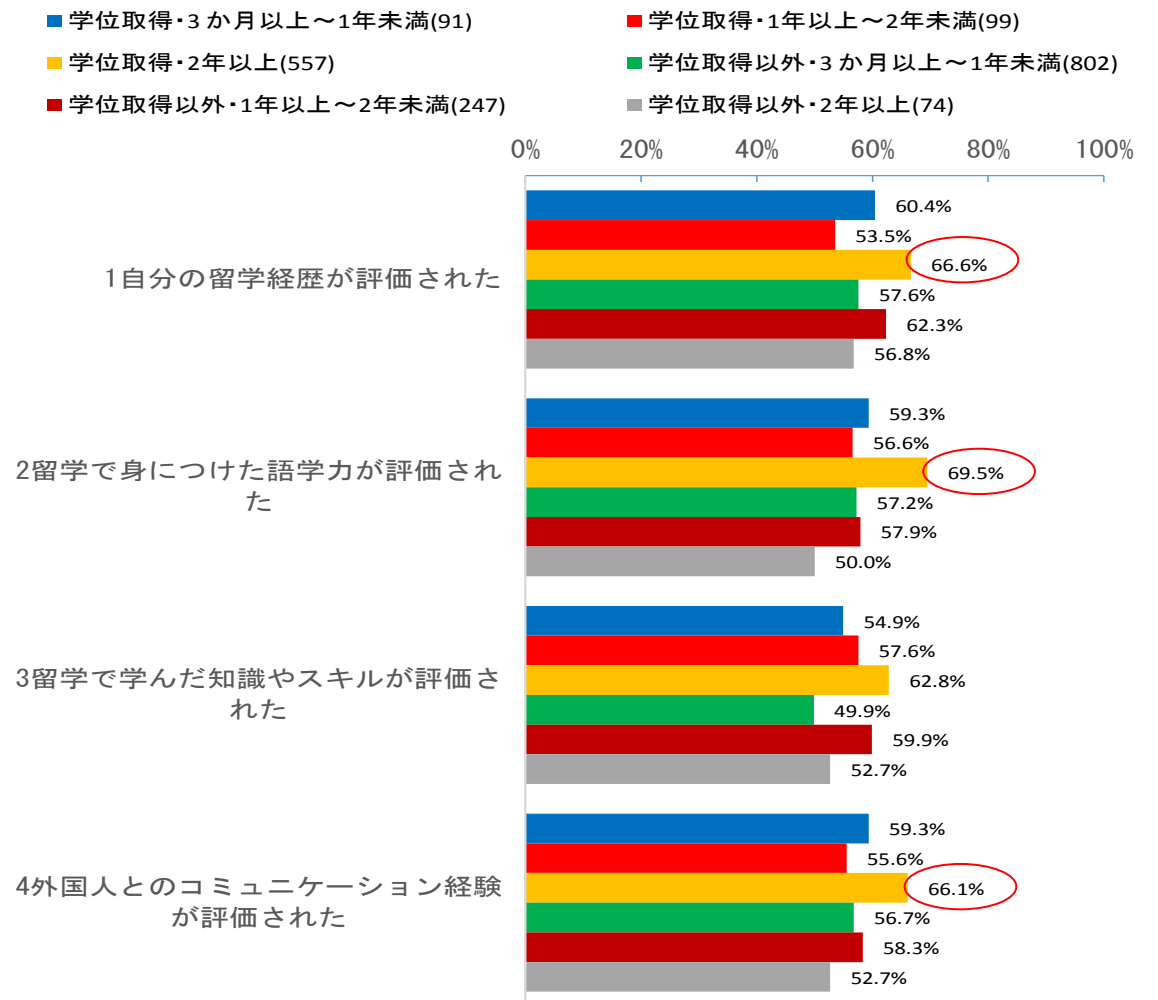
海外留学のインパクト

現在の年齢が若い方が採用へのインパクトは大きい。学位取得と学位取得以外で留学経歴の評価はさほど大きくはかわらない。

採用における評価（年代別）



採用における評価（留学期間別）



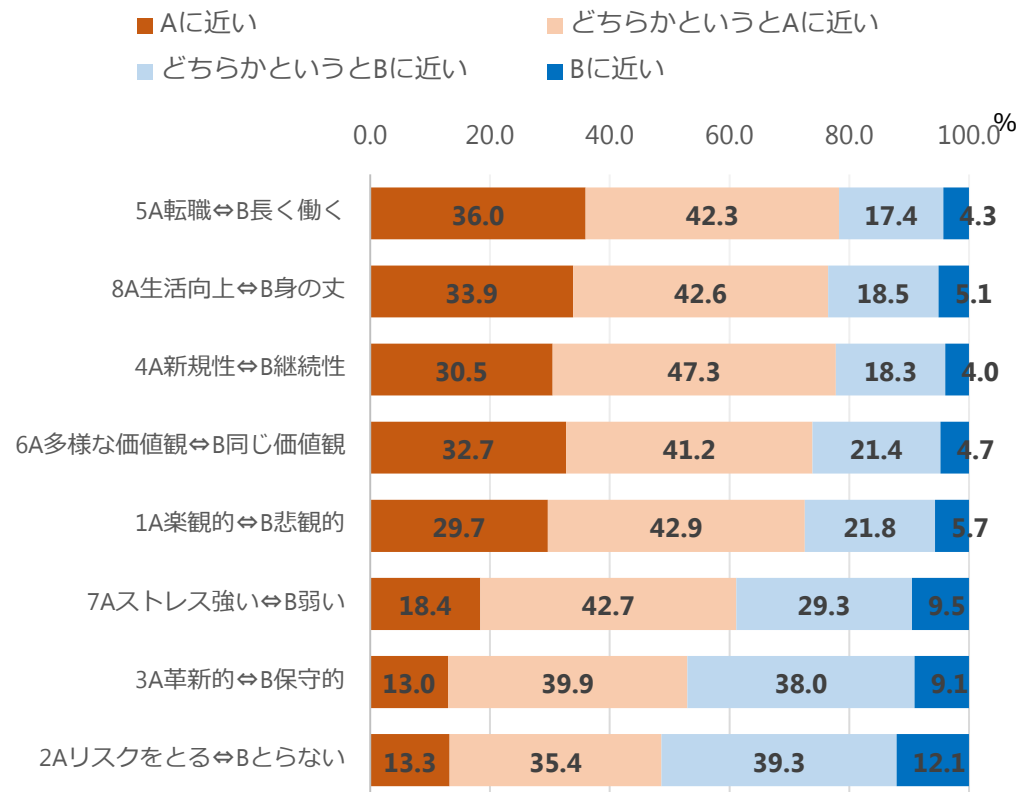
※ 「つよくそう思う」「そう思う」の回答を集計

留学の中長期的なインパクト：態度・価値観と人生の満足度

以下のそれぞれの項目について当てはまるものを一つ選んでください。

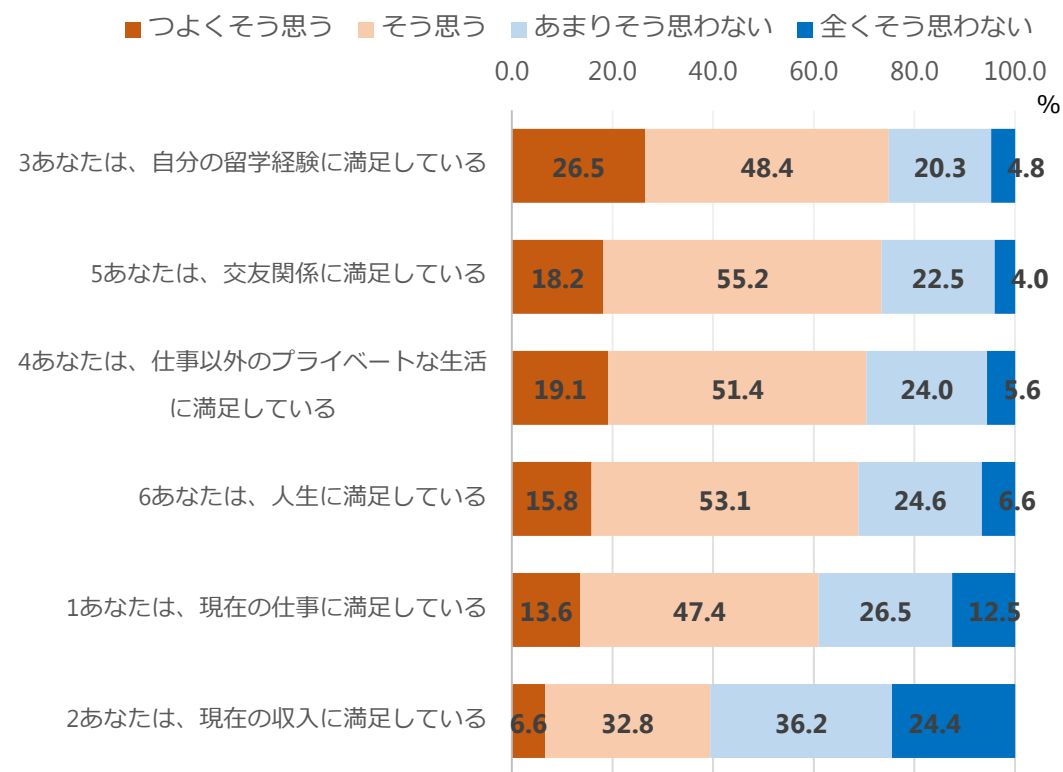
態度・価値観

n=4,486



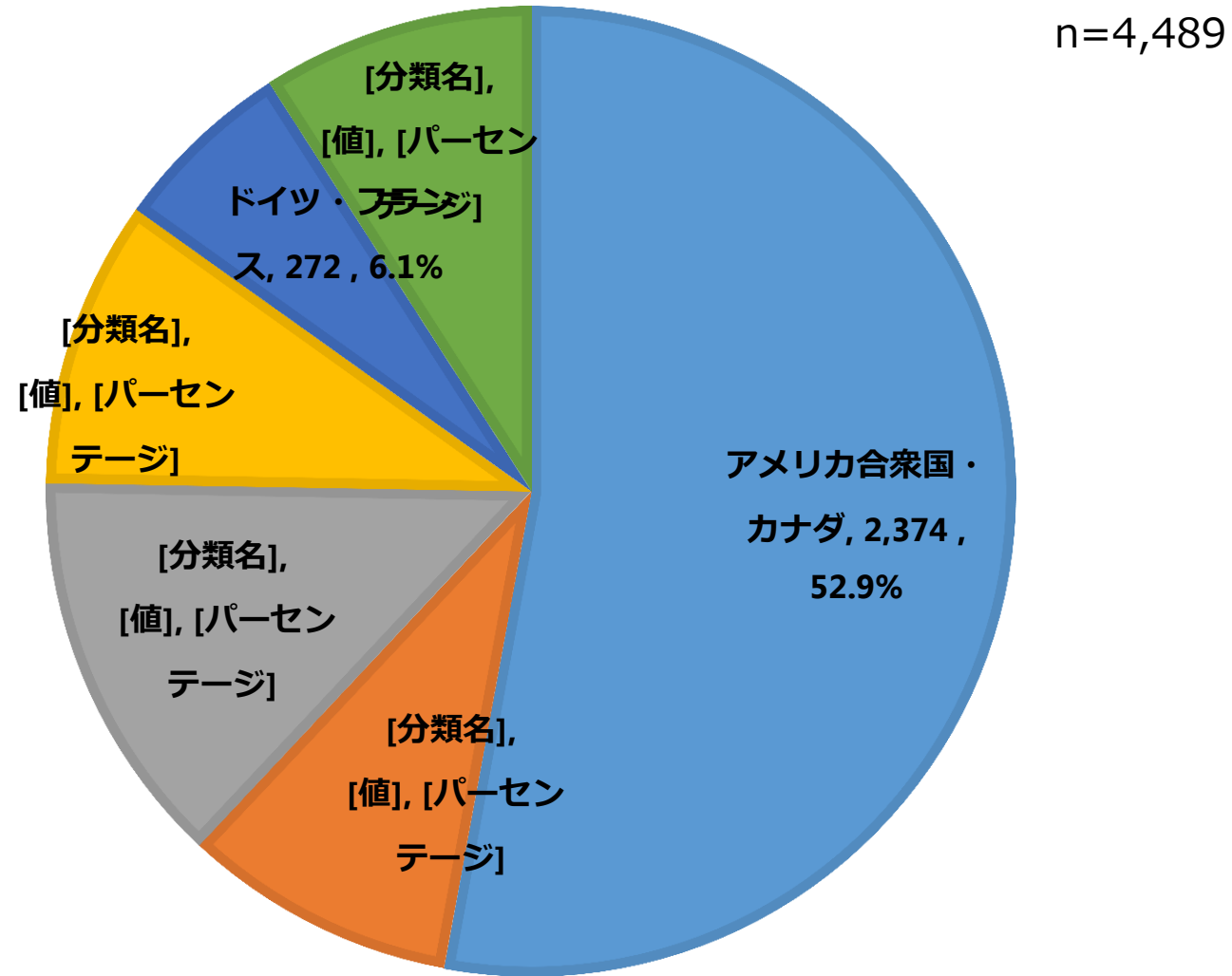
人生の満足度

n=4,487



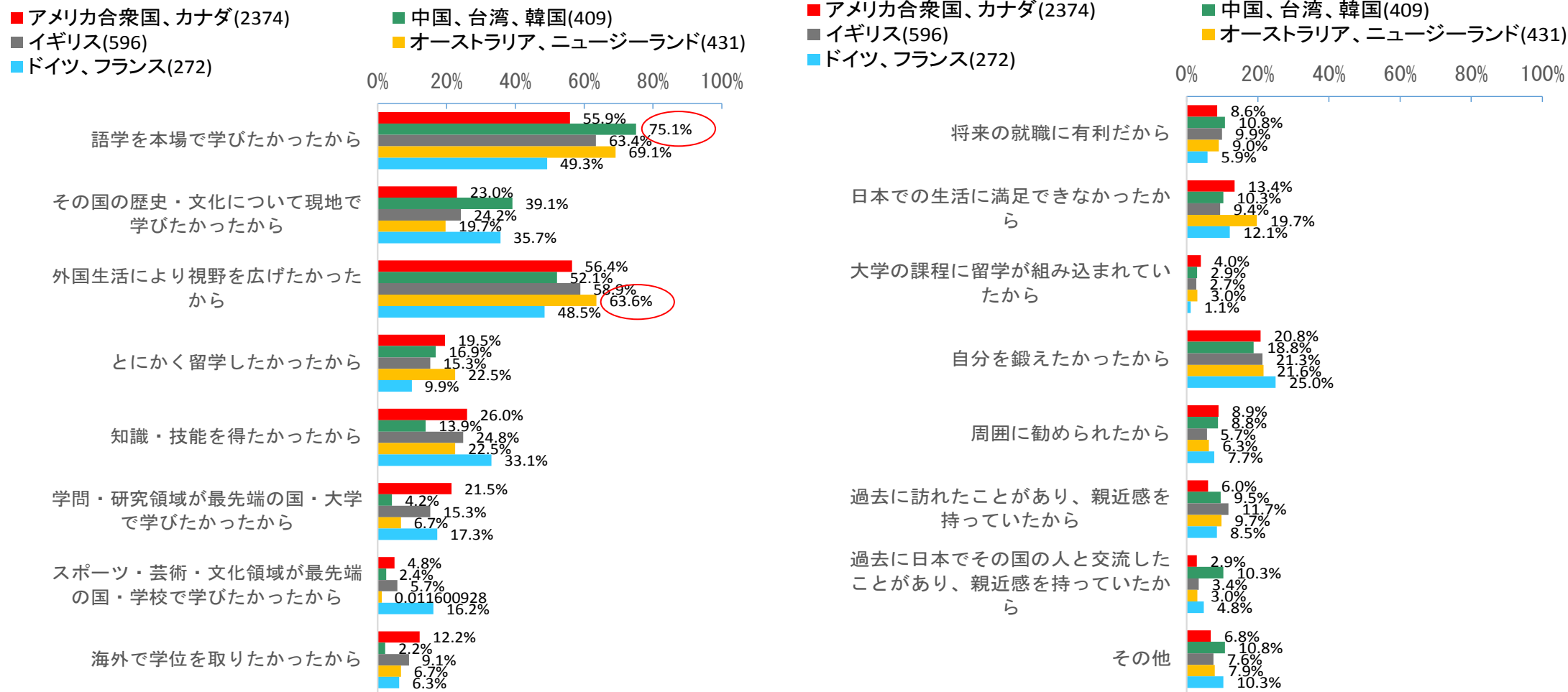
留学先の国別の結果

留学の傾向：留学先の国



留学の傾向：留学理由X留学先の国

中国・台湾・韓国は「語学を学びたかった」、オーストラリア・ニュージーランドは「視野を広げたかった」の回答の割合が他国よりも多い。

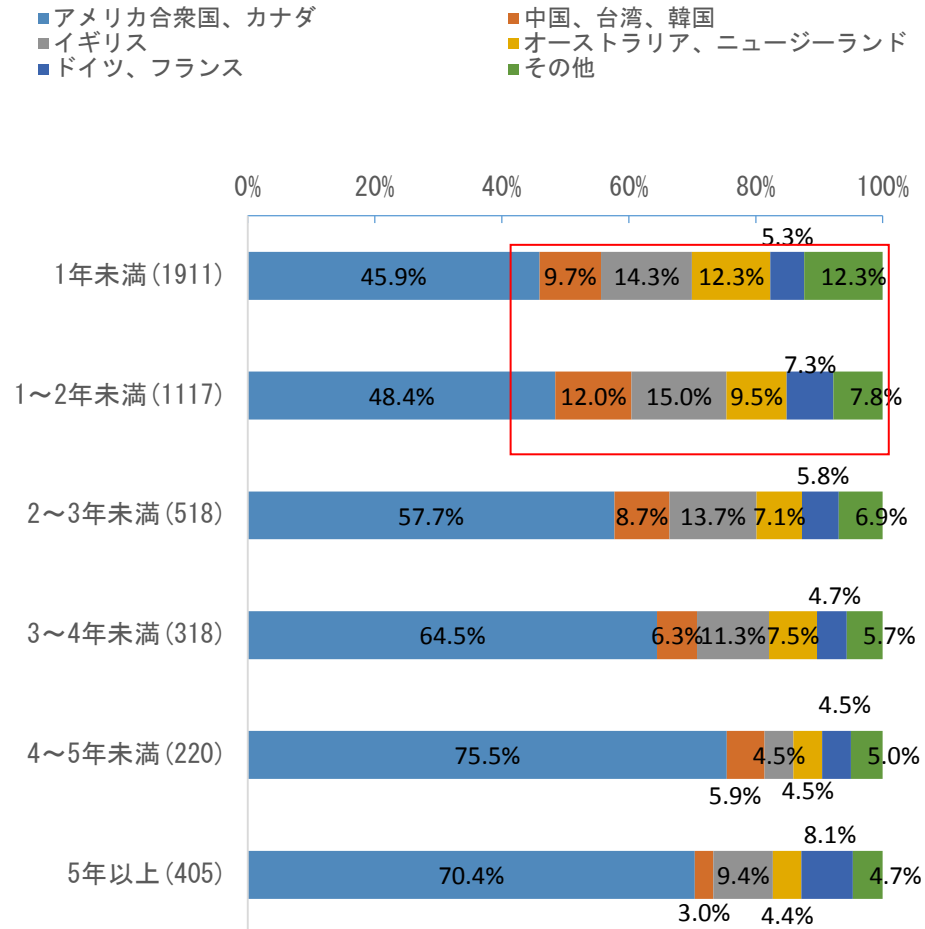


※海外留学の主な理由第1～3位の合算値を全体数4,489で割って集計

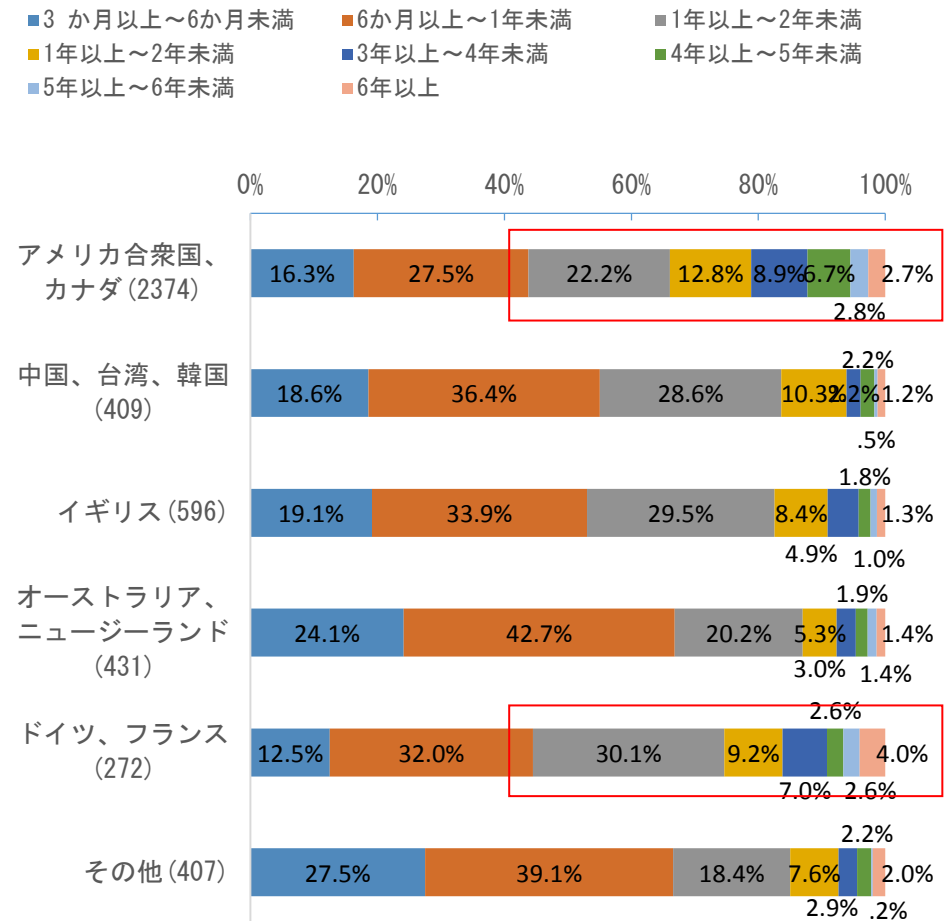
留学への傾向：留学期間 × 留学先の国

2年未満の留学ではアメリカ以外の国が半分以上を占めるが、2年以上の留学ではほとんどがアメリカへの留学。

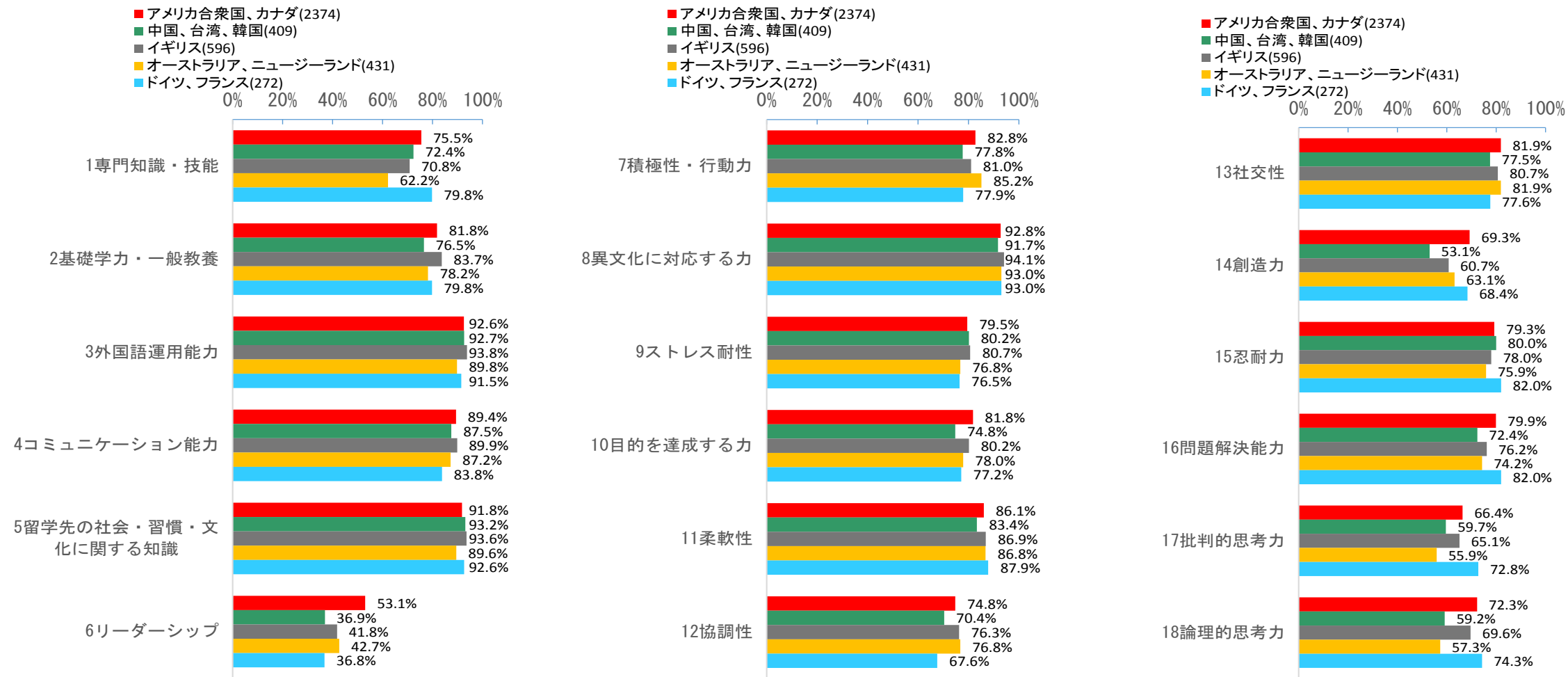
留学先の国
(留学期間別)



留学期間
(留学先の国別)



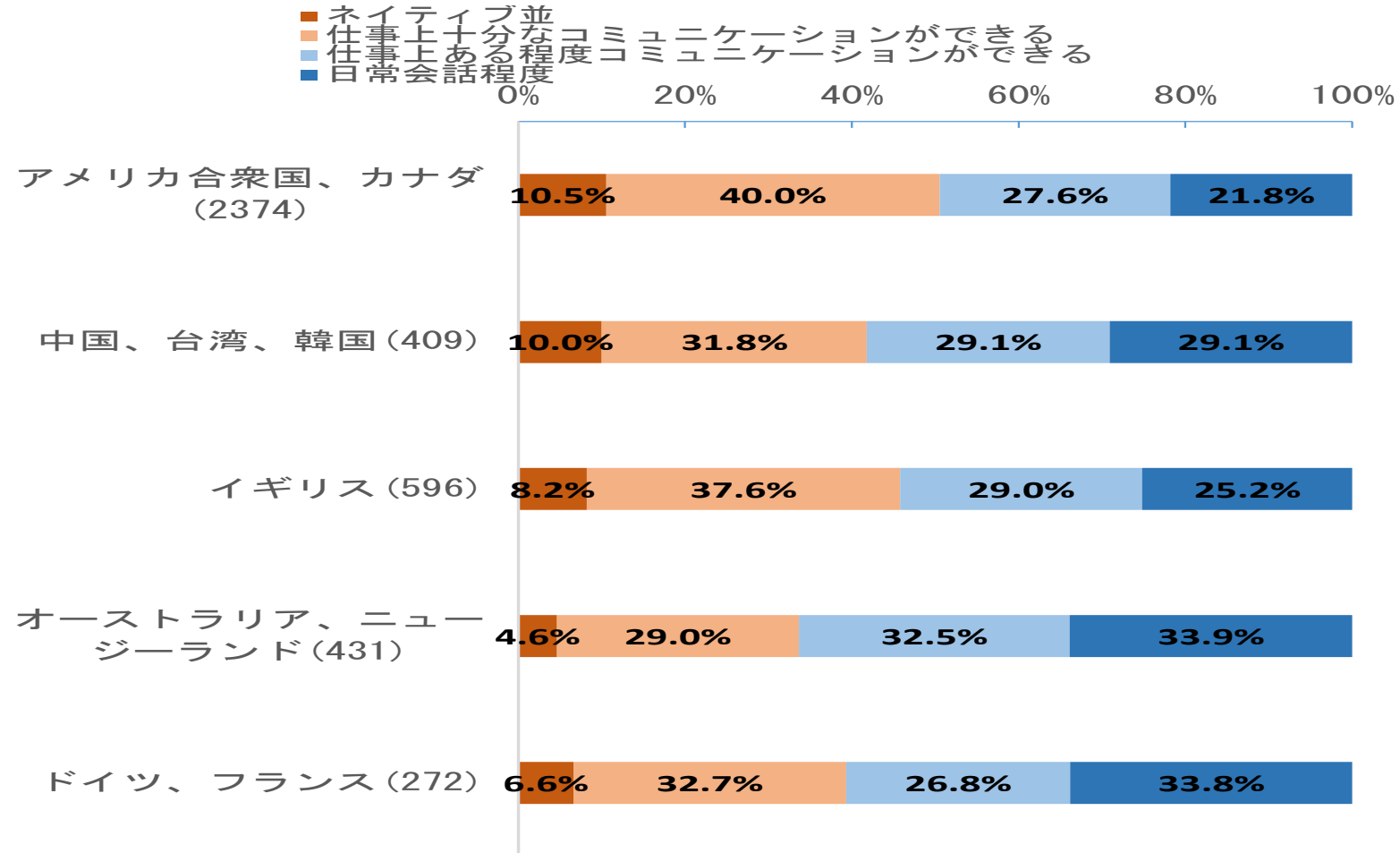
留学の中長期的なインパクト：能力×留学先



※ 「つよくそう思う」「そう思う」の回答を集計

留学の中長期的なインパクト：能力×留学先

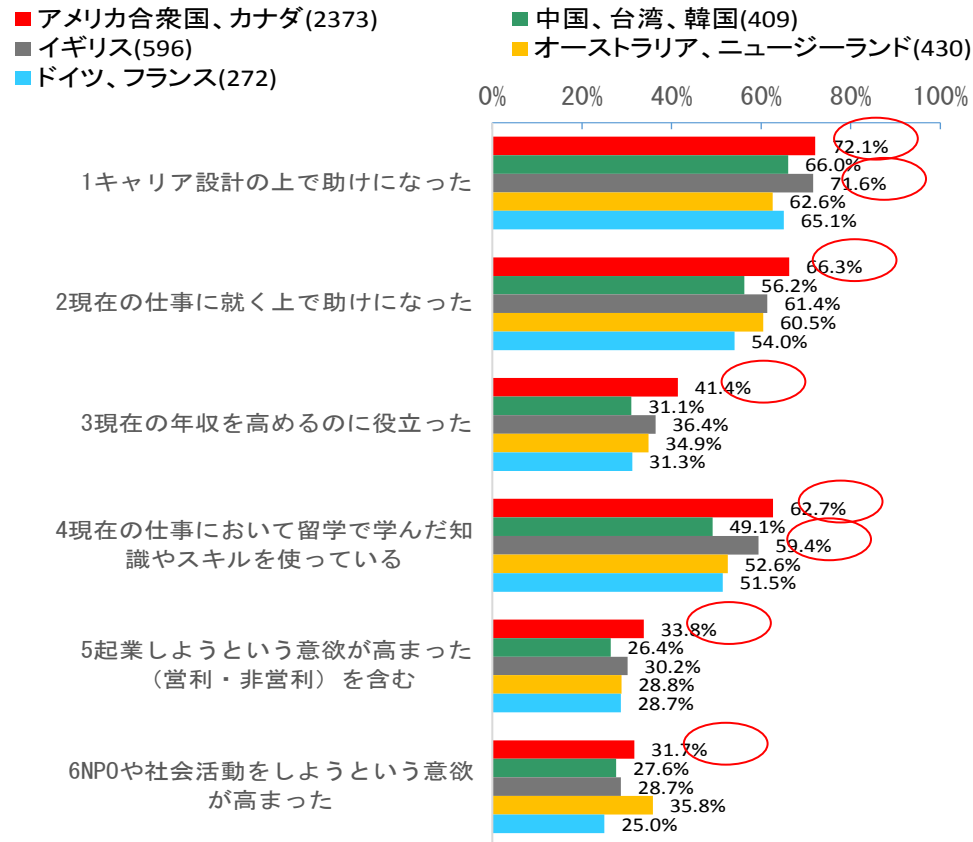
最もレベルが高いと回答した外国語のレベル



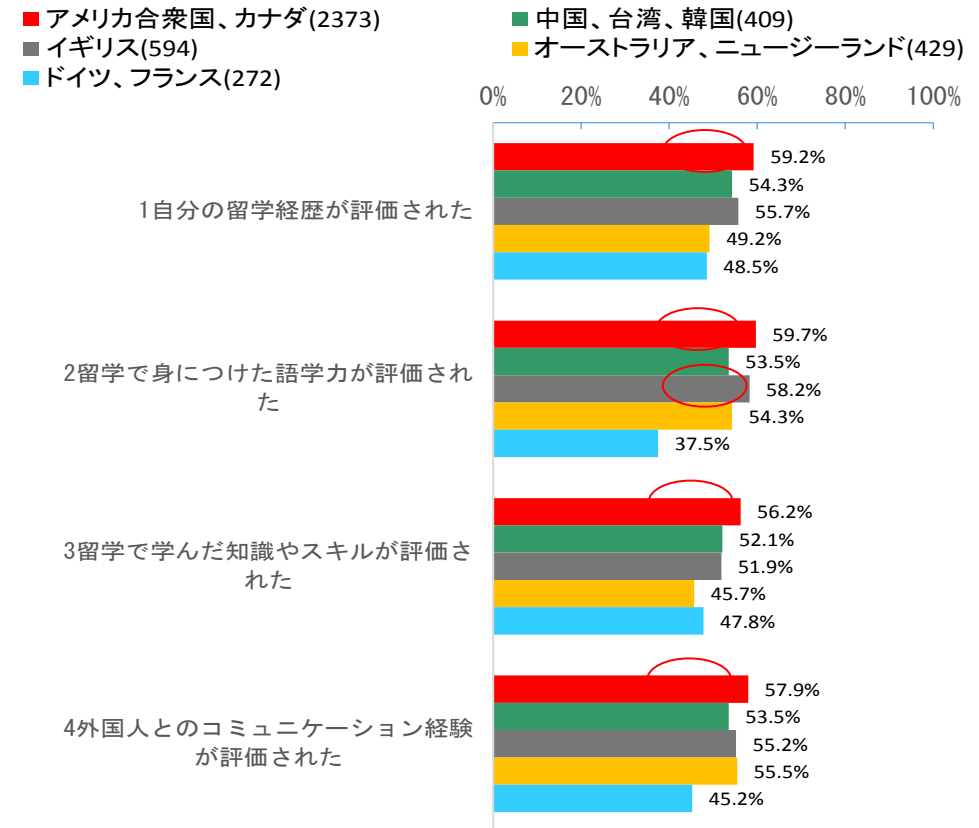
留学の中長期的なインパクト: キャリアX留学先

アメリカ・カナダ・イギリスの留学が重要と回答した人の方がキャリアへの影響、採用における評価は高い。

キャリアへの影響



採用における評価



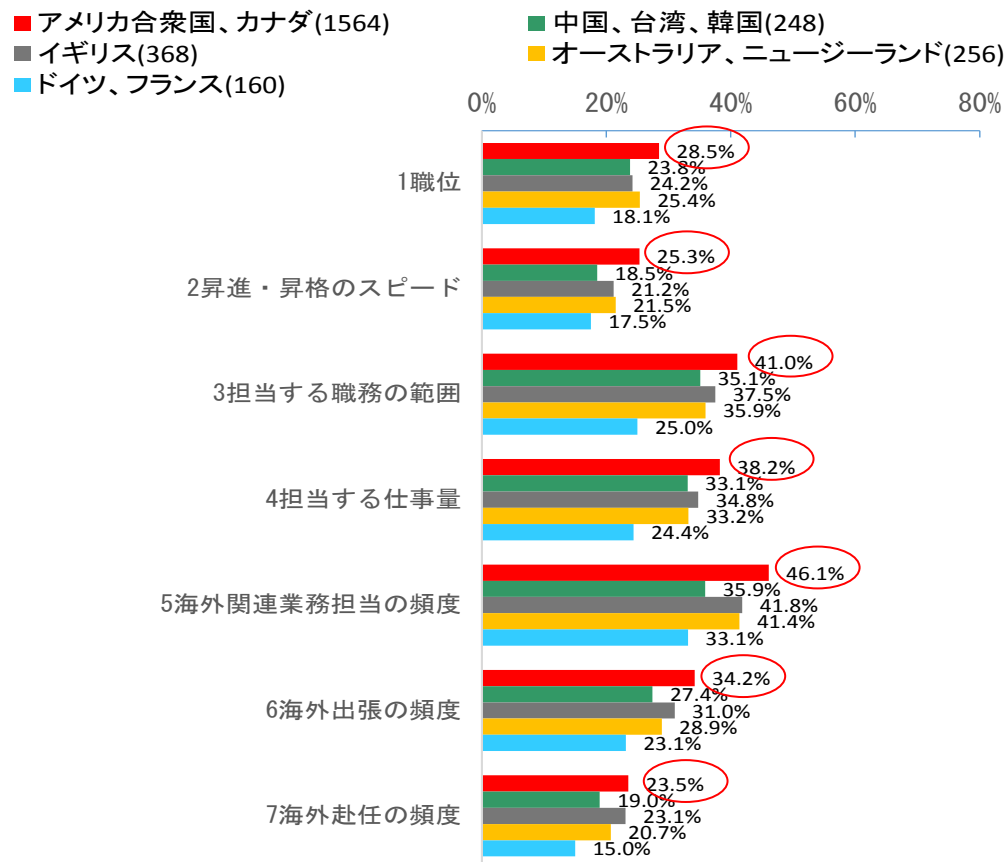
※ 「つよくそう思う」「そう思う」の回答を集計

留学の中長期的なインパクト: キャリアX留学先

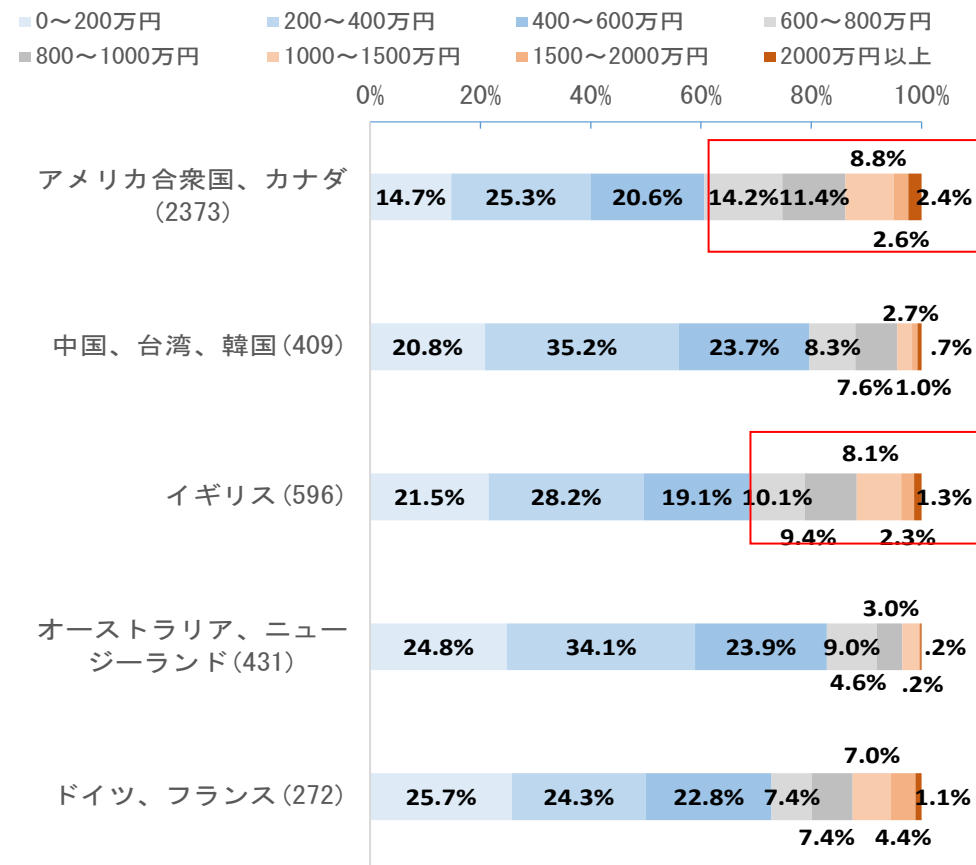
アメリカ・カナダの留学が重要と回答した人の方がキャリアの処遇の違いもある。

アメリカ・カナダ・イギリスの留学が重要と回答した人の年収レベルは他の国よりも高い。

留学未経験者と比較したキャリア処遇上の違い



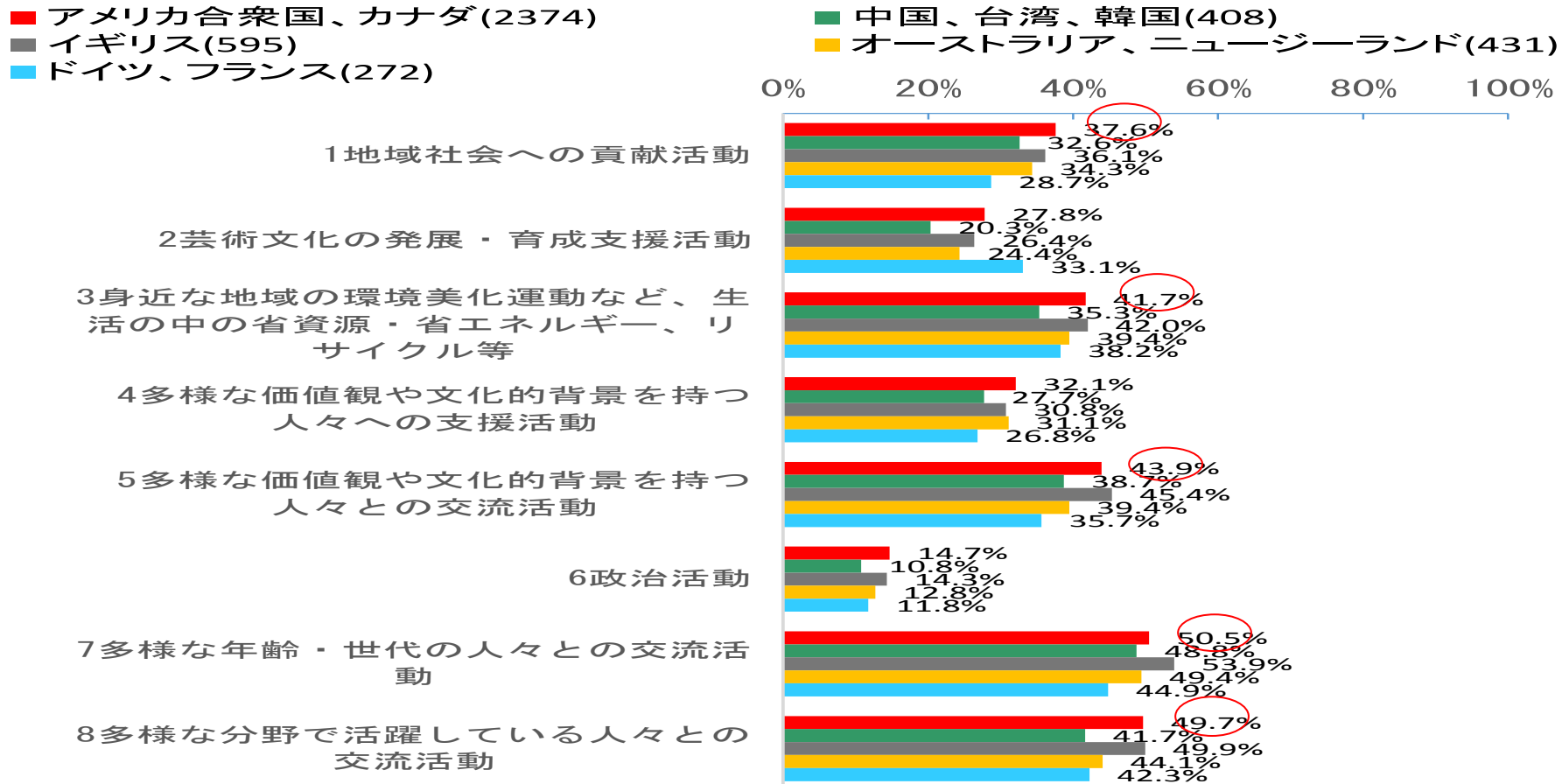
現在の年収



※ 「かなり高い」「やや高い」の回答を集計

留学の中長期的なインパクト：意識・行動の変容X留学先

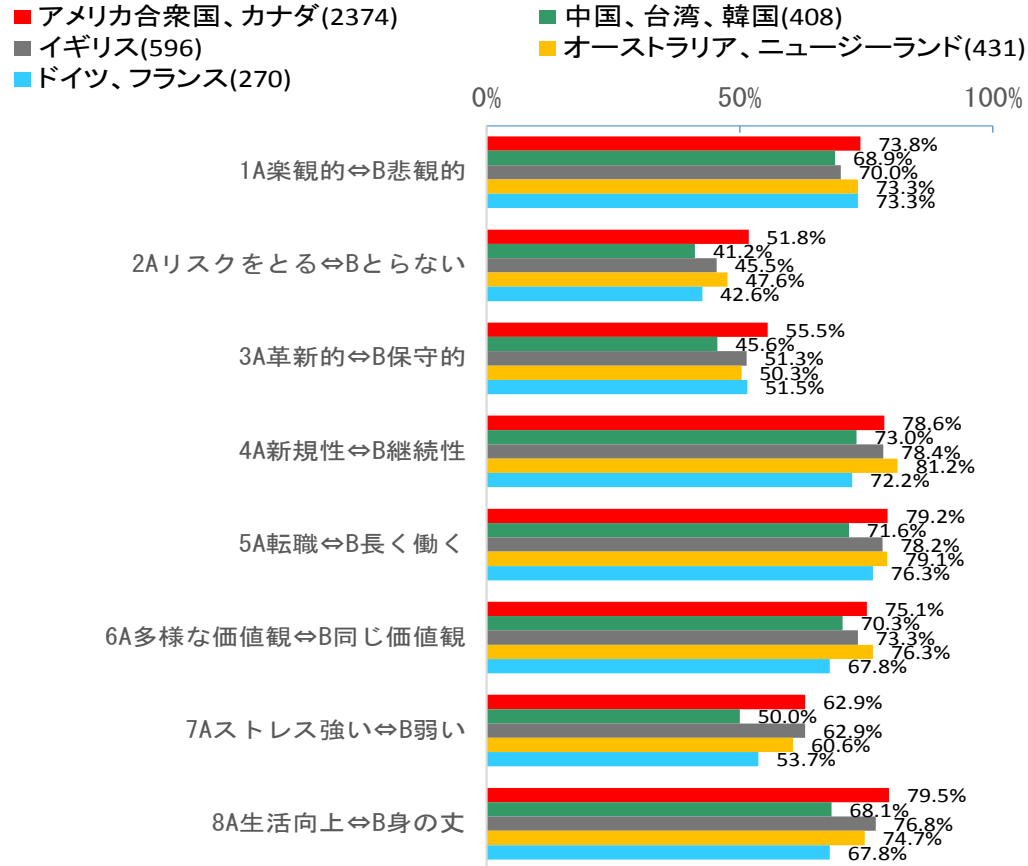
行動の高まり



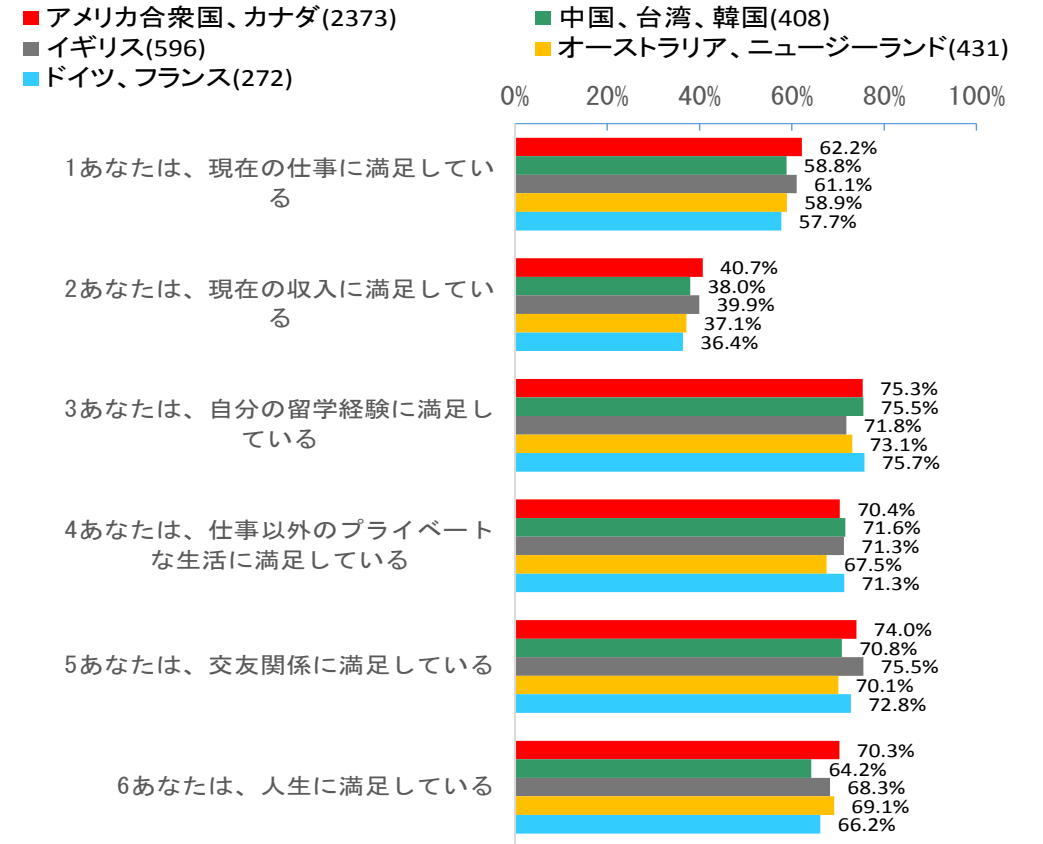
※「よく参加している」「時々参加している」の回答を集計

留学の中長期的なインパクト：態度価値観・人生の満足度X留学先

態度・価値観



人生の満足度



※「Aに近い」「どちらかというとならに近い」の回答を集計

※「つよくそう思う」「そう思う」の回答を集計

まとめ

留学のインパクトに関する本調査では、留学のインパクトが考えられる能力、キャリア、意識・行動、態度・価値感、人生の満足度の5分野について、主に回答者の主観的評価のデータ分析を行った。

• 全体

- 留学のインパクトが大きいと考えられるのは、能力と意識。
- キャリアに関しては、採用とキャリア設計においてはある一定のインパクトがあるが、留学未経験者と比較したキャリア処遇や年収においてはインパクトは小さい。
- 行動の変容へのインパクトは小さい。
- 留学を経験した人は、新規性、多様性、向上心が高く、転職を好む傾向がある。
- 留学経験者の人生への満足度は高い傾向にあるが、収入について満足している人は4割程度。

• 留学先別

- アメリカ・カナダ・イギリスへの留学はキャリアへの影響が大きく、年収にも差が見られる。しかし人生の満足度については、留学先による違いはあまり見られない。
- 英語圏に留学した人と、中国・韓国・台湾・フランス・ドイツに留学した人との間で、態度・価値観に違いが見られる。

今後の分析について

- 留学タイプ別の分析
 - 留学を主なタイプに分類し、留学のタイプ別に、その中長期的なインパクトについて分析
 - 留学の分類に使用する項目
 1. 留学の期間（1年未満・1～2年・2年以上に3分類）
 2. 留学先学校種別（高校・学部・修士・博士・語学学校）
 3. 留学形態別（学位取得・単位取得・語学留学）
 4. 学問の専攻・専門分野別（人文学系、社会科学系、理工学系）
 - 50%以上を占めるアメリカ留学に絞ったインパクト分析
 - 留学のキャリアへのインパクト（留学種別や形態と採用における評価やキャリアへの影響の関係、例：学位取得留学に絞った採用やキャリアへの影響）
 - 中間ファクター（留学中の活動）と留学のインパクトの関係性の分析